

資料 2

「平成 29 年度 県民の幸福に関する意識調査」  
報告書

熊 本 県



# 目 次

1	調査の概要	1
	(1) 調査目的	1
	(2) 調査対象	1
	(3) 標本抽出法	1
	(4) 調査方法	2
	(5) 設定標本数と回収標本数	2
	(6) 調査時期	2
2	調査項目	3
3	調査結果	4
	(1) 全体集計結果・分析	4
	(2) クロス集計結果・分析	14
	(3) 属性	31



# 1 調査の概要

## (1) 調査目的

県民幸福量を測る総合指標としての「県民総幸福量（AKH）」の算出に必要なデータを収集する。

## (2) 調査対象

県内在住の20歳以上の男女

## (3) 標本抽出法

「地域によって求める幸福の形は異なる」との認識のもと、地域ごとに精度の高い分析を行うため、平成24年度の抽出法（①）に②・③のステップを加えて、設定標本数3500人分の抽出を行った。

### 【具体的な抽出法】

①県内全市町村の満20歳以上の男女の人口構成比により標本数3000人を按分して市町村ごとの標本数を決定し、各市町村の住民基本台帳に基づき無作為抽出。

②各市町村を下記の11地域に分類した場合、回収率を50%とおいたときに、1地域で96人（※）の回収に満たない地域が想定されるため、追加500人分を不足する地域に男女比・人口比で按分して割り付け。

※信頼度95%で誤差±10%を想定

③当該地域内の市町村ごとに男女別で無作為抽出。

表：11地域の内訳

熊本	熊本市	※阿蘇	阿蘇市 南小国町 小国町 産山村 高森町 南阿蘇村 西原村	※芦北	水俣市 芦北町 津奈木町
※宇城	宇土市 宇城市 美里町			※球磨	人吉市 錦町 あさぎり町 多良木町 湯前町 水上村 相良村 五木村 山江村 球磨村
玉名	荒尾市 玉名市 玉東町 和水町 南関町 長洲町	※上益城	御船町 嘉島町 益城町 甲佐町 山都町		
※鹿本	山鹿市	八代	八代市 氷川町	天草	上天草市 天草市 苓北町
菊池	菊池市 合志市 大津町 菊陽町				

※ 印の地域が人口比よりもめに調査票を割り付けた地域

#### (4) 調査方法

郵送調査法

#### (5) 設定標本数と回収標本数

3500人設定 1700人回収 回収率48.6%

#### (6) 調査時期

平成29年6月6日～平成29年6月20日

但し、6月30日に配達されたものまで有効とした。

#### ◇ 集計上の注意点

標本を人口比より多めに設定した地域が6地域存在するため、県全体や性別、年代別、職業別の分析には、これらの地域の回答が多めに反映されることとなる。

その影響を回避するとともに過去の調査との比較が可能となるように、県全体、性別、年代別、職業別の集計にあたり、多めに設定した6地域については、3000人で設定した場合の回収目標数になるように回答データを等間隔抽出して削減した。

従って、クロス集計の地域別のみが3500人で設定した際の回収数で集計している。

注) 等間隔抽出とは、ある集団から標本を抽出する際に、集団に属する個々に通し番号を振り、必要な標本数を満たすように10件おき、20件おきなど、等間隔で抽出する方法。

#### ◇ 端数処理について

「(1) 全体集計結果・分析」及び「(2) クロス集計結果・分析」の「問1」、「(3) 属性」の集計結果は、小数点第二位を四捨五入しているため、回答割合の合計が100%にならない場合もある。

また、「(2) クロス集計結果・分析」の「問2」の集計結果は、小数点第三位を四捨五入しているため、4つの分類のウエイトの合計が「10」点にならない場合もある。

#### ◇ “4つの分類”のウエイト（重要度）について

4つの分類のウエイト（重要度）の高さの順により、下表のとおり7つに類型化している。

類型Ⅰ	「A 夢を持っている」→「C 経済的な安定」→「D 将来に不安がない」→「B 誇りがある」
類型Ⅱ	「A 夢を持っている」→「D 将来に不安がない」→「B 誇りがある」→「C 経済的な安定」
類型Ⅲ	「A 夢を持っている」→「D 将来に不安がない」→「C 経済的な安定」→「B 誇りがある」
類型Ⅳ	「C 経済的な安定」→「A 夢を持っている」→「B 誇りがある」→「D 将来に不安がない」
類型Ⅴ	「C 経済的な安定」→「A 夢を持っている」→「D 将来に不安がない」→「B 誇りがある」
類型Ⅵ	「C 経済的な安定」→「D 将来に不安がない」→「A 夢を持っている」→「B 誇りがある」

## 2 調査項目

調査項目は以下の4項目である。

[問1] 直観的な幸福度について

現在の「直観的な幸福度」について、「感じている」「やや感じている」「どちらでもない」「どちらかといえば感じていない」「感じていない」の5段階で質問。

[問2] “4つの分類”のウエイト（重要度）について

幸福要因の“4つの分類”（「夢を持っている」「誇りがある」「経済的な安定」「将来に不安がない」）について、幸福の全体を「10」点とした場合に、それぞれのウエイト（どれを重視するかの度合い、重要度）が何点になるのかを質問。

[問3] “12の項目”に関する満足度（実感や考え）について

“12の項目”に関し、それらに対する実感や考え方を5段階（「感じている」～「感じていない」または「持っている」～「持っていない」）で質問。

なお、この間で把握する実感や考え方を回答者の「満足度」と捉えている。

### ■ “4つの分類”と“12の項目”

4つの分類	12の項目
夢を持っている	家族関係、仕事関係、教育環境
誇りがある	自然資源、歴史・文化、地域社会とのつながり
経済的な安定	家計所得、消費活動、住まい
将来に不安がない	心身の健康、食と生活環境の安全、防災・治安

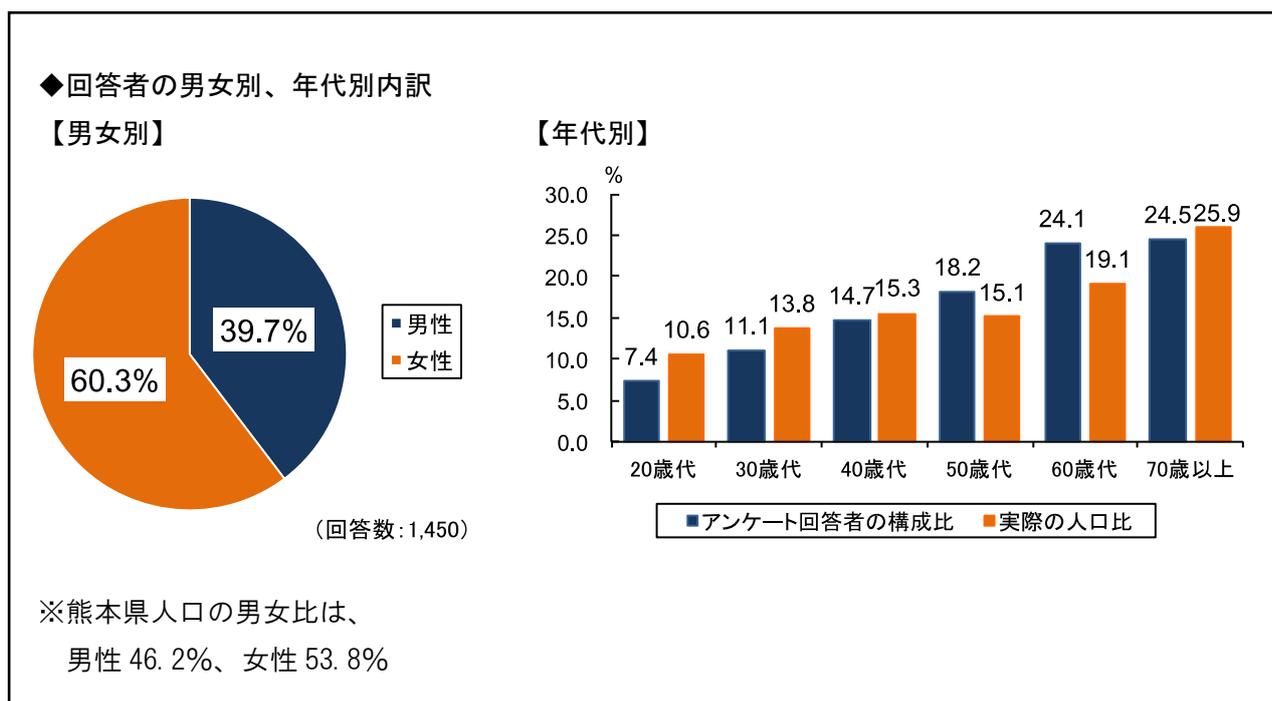
【属性】 [問4] 性別、[問5] 年代、[問6] 居住地、[問7] 職業

### 3 調査結果

#### (1) 全体集計結果・分析

男女別及び年代別の内訳は、以下のグラフのとおりである。男女別では、女性の回答が多かった。また、年代別では、実際の熊本県人口構成比（平成28年）と比べて、50～60歳代の方からの回答が多かった。

注) 人口比より多めに設定した6地域の影響をなくした1,457人の標本により集計。



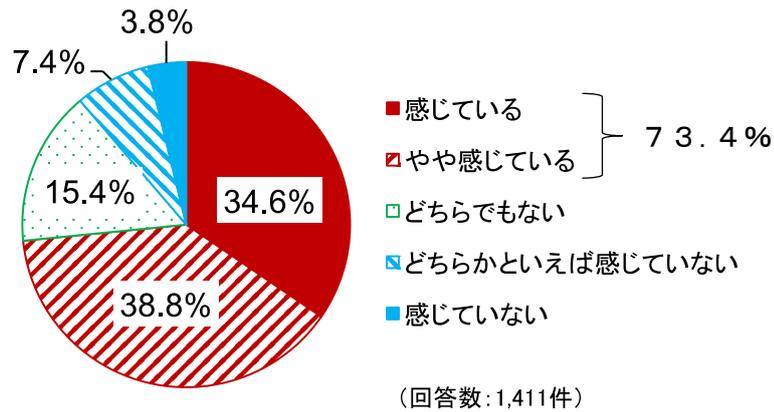
各問及びその回答は次ページ以降のとおりである。

なお、いずれも無回答者の数を除いて集計した結果である。

## 問1 直観的な幸福度について

問1では、現在、端的に幸せと感じているかという「直観的な幸福度」を5段階評価で質問した。その結果は以下のとおりである。

現在、あなたは幸せだと感じていますか。  
最も当てはまるものを1つ選んで、番号に「○」をつけてください。



「感じている」と回答した人は34.6%で3人に1人。

「感じている」と「やや感じている」を合わせた人（以下、“幸福を感じている人”）の割合は73.4%で、ほぼ4人に3人。

一方、「幸福感」を感じていない人は合わせて11.2%、「どちらでもない」が15.4%。

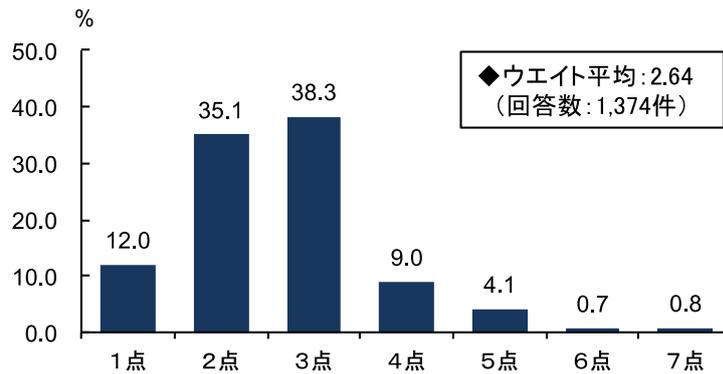
## 問2 “4つの分類”のウエイト（重要度）について

問2では、幸福要因の“4つの分類”（「A 夢を持っている」「B 誇りがある」「C 経済的な安定」「D 将来に不安がない」）について、幸福の全体を「10」点としたとき、AからDのウエイト（どれを重視するか degree、重要度）がそれぞれ何点になるのかを質問した。なお、集計に際しては“4つの分類”のすべてに1以上のウエイトがつけられ、かつ合計が10点となった回答を対象とし、有効回答数は1,374件であった。

あなたの幸福の全体を「10」点としたとき、A～Dの“4つの分類”の重要度（どれを重視するか degree、ウエイト）は、それぞれ何点になりますか。

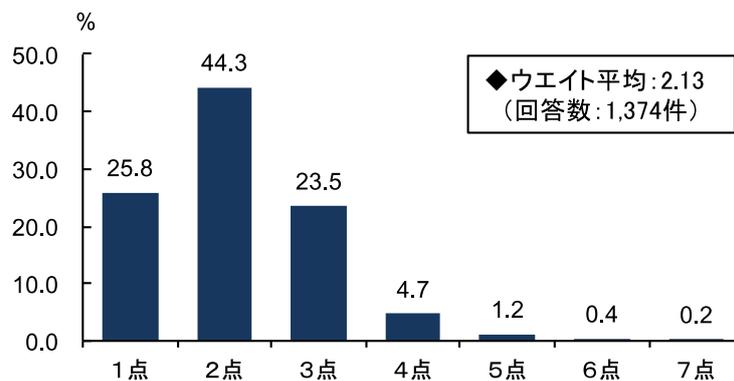
### A 夢を持っている

項目：ア 家族関係 イ 仕事関係 ウ 教育環境



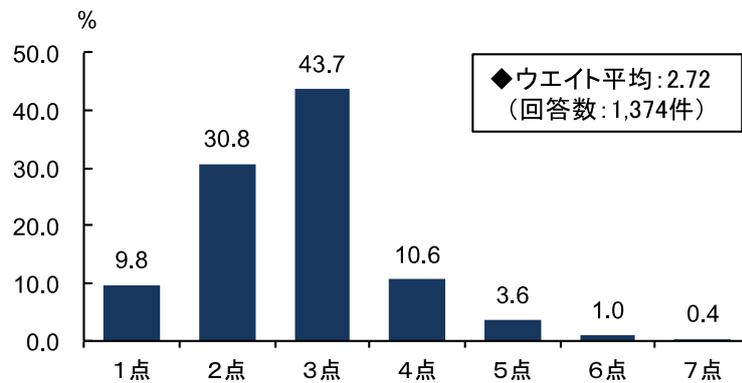
### B 誇りがある

項目：ア 自然資源 イ 歴史・文化 ウ 地域社会とのつながり



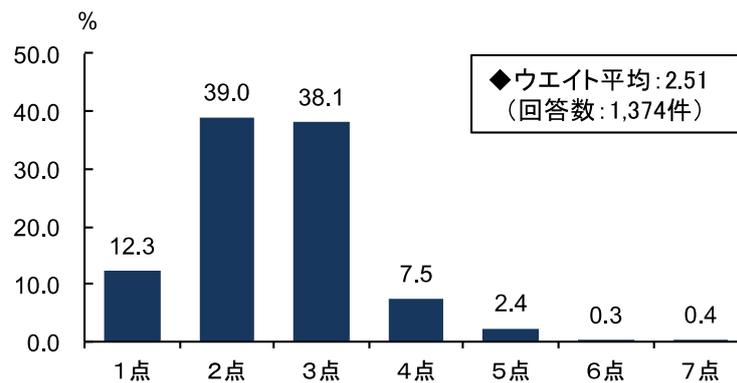
### C 経済的な安定

ア 家計所得 イ消費活動 ウ住まい



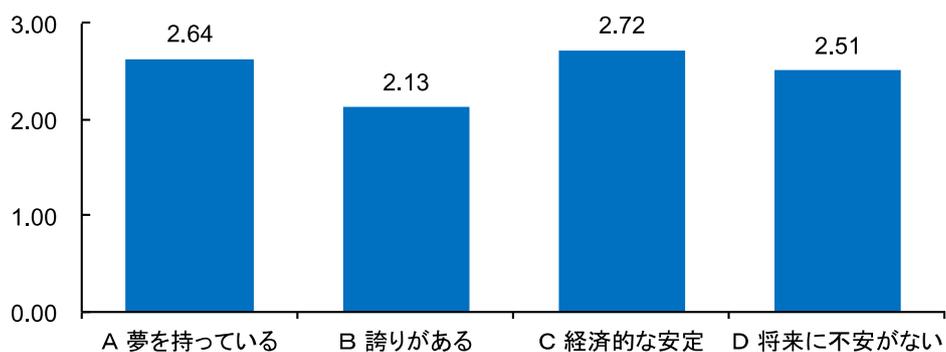
### D 将来に不安がない

ア 心身の健康 イ食と生活環境の安全 ウ防災・治安



上記の“4つの分類”のウエイトを整理したのが次のグラフである。

< “4つの分類”のウエイトの平均値 >



### 問3 “12の項目”に対する満足度（実感や考え）について

問3では、幸福要因の“12の項目”に関して、それぞれに対する実感や考えを5段階で答えてもらうよう質問した。

結果は次ページ以降の図のとおりである。

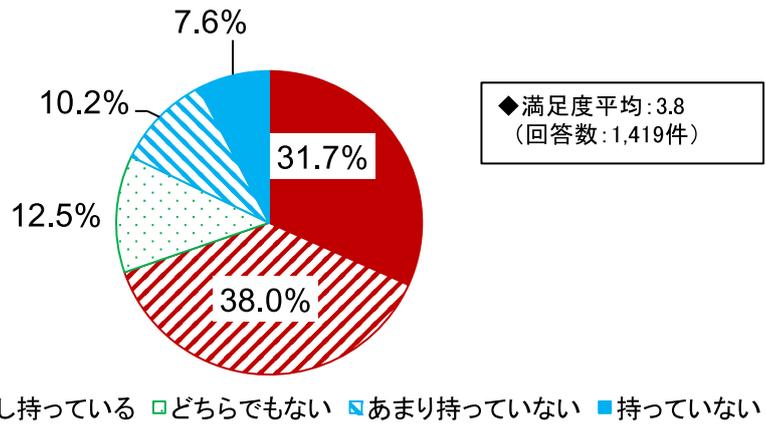
左の円グラフは、それぞれの回答数の割合を示している。また、右の「満足度平均」は、「感じている（または、「持っている）」を5点、「やや感じている（または、「少し持っている）」を4点、「どちらでもない」を3点、「あまり感じていない（または、「あまり持っていない）」を2点、「感じていない（または、「持っていない）」を1点として、それらの平均値（加重平均）を示している。なお、集計に際しては、“12の項目”のすべてに回答があったものを対象とし、有効回答数は1,419件であった。

次のそれぞれの項目について、最も当てはまるものを1つ選んで、番号に「○」をつけてください。

**A 夢を持っている**

ア 家族関係

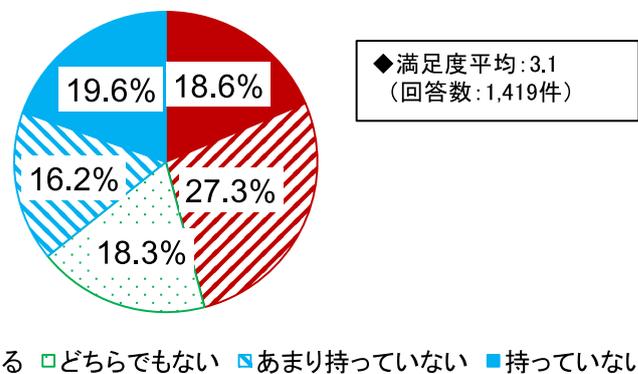
あなたは、家族で叶えたいことや、家族に叶えてもらいたいことなど、家族のことで将来の夢を持っていますか？



イ 仕事関係

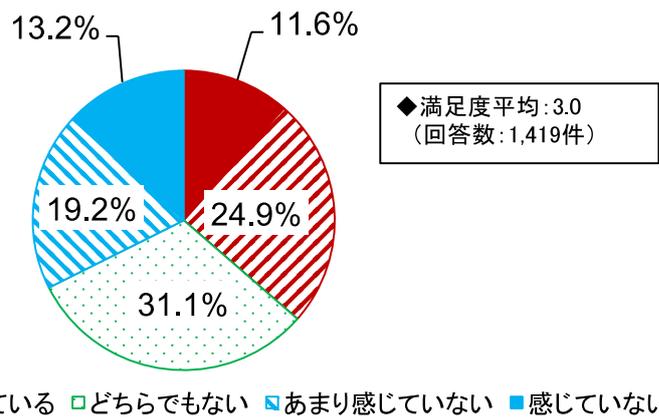
あなたは、仕事※のことで将来の夢を持っていますか？

※仕事……パート・アルバイトや社会参加活動、ボランティア活動などを含む



ウ 教育環境

あなたは、将来の夢の実現に向けて学べる環境にあると感じていますか？

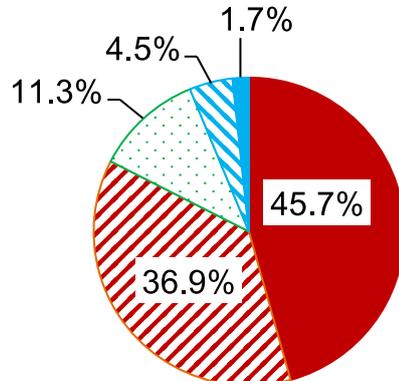


## B 誇りがある

### ア 自然資源

あなたは、地域の自然※を素晴らしいと感じていますか？

※地域の自然……山、海、河川、森林など



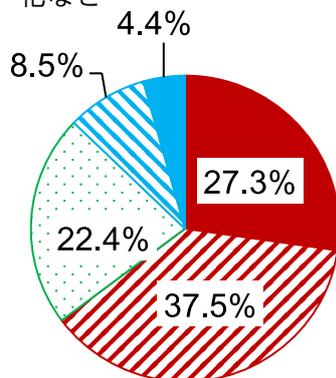
◆満足度平均:4.2  
(回答数:1,419件)

■感じている □やや感じている □どちらでもない □あまり感じていない ■感じていない

### イ 歴史・文化

あなたは、地域の歴史や文化※に誇りを感じていますか？

※地域の歴史や文化……歴史的な建造物や史跡、伝統芸能、伝承文化、芸術文化など



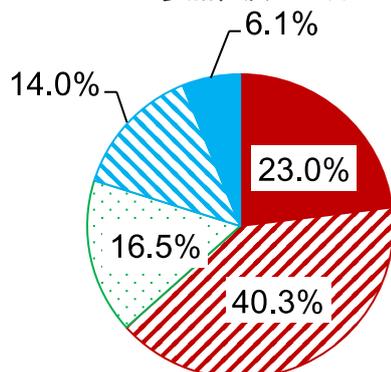
◆満足度平均:3.7  
(回答数:1,419件)

■感じている □やや感じている □どちらでもない □あまり感じていない ■感じていない

### ウ 地域社会とのつながり

あなたは、地域社会とのつながり※を感じていますか？

※地域社会とのつながり……近所づきあい、地域の行事・ボランティア活動への参加、友人・知人との交流など



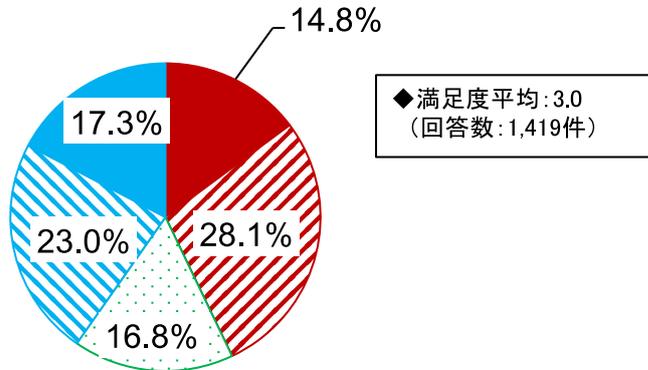
◆満足度平均:3.6  
(回答数:1,419件)

■感じている □やや感じている □どちらでもない □あまり感じていない ■感じていない

## C 経済的な安定

### ア 家計所得

あなたは、必要な所得や収入が得られていると感じていますか？

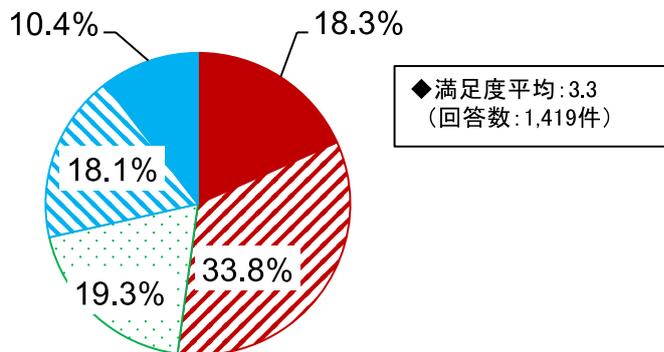


■感じている ■やや感じている ■どちらでもない ■あまり感じていない ■感じていない

### イ 消費活動

あなたは、必要なモノやサービス\*を購入できていると感じていますか？

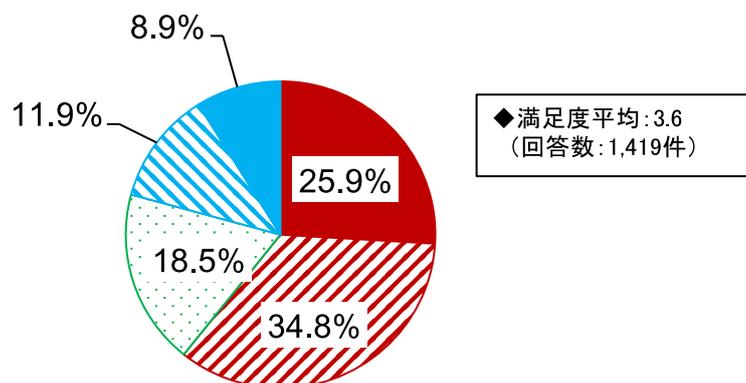
\*サービス……レジャーや余暇活動を含む



■感じている ■やや感じている ■どちらでもない ■あまり感じていない ■感じていない

### ウ 住まい

あなたは、今の住まいに快適さやゆとりを感じていますか？

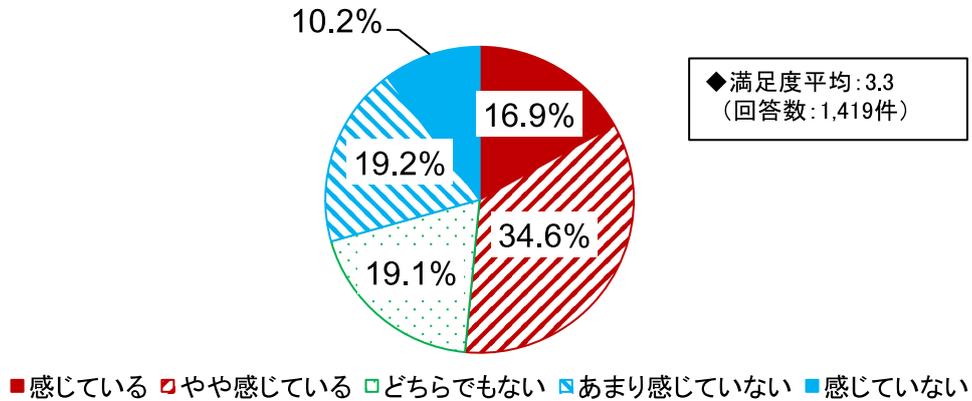


■感じている ■やや感じている ■どちらでもない ■あまり感じていない ■感じていない

## D 将来に不安がない

### ア 心身の健康

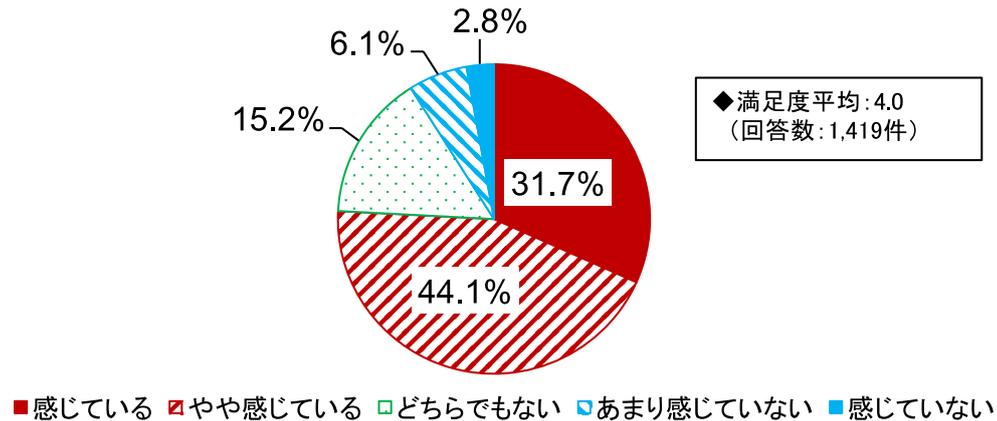
あなたは、こころやからだ健康だと感じていますか？



### イ 食と生活環境の安全

あなたは、食べ物や地域の生活環境が安全※だと感じていますか？

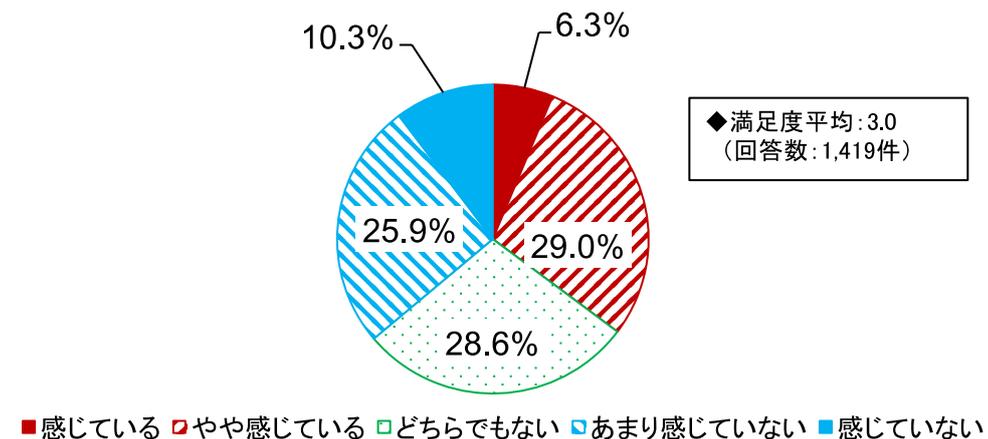
※地域の生活環境が安全……水や空気がきれい、土壌が汚染されていない、騒音が少ないなど



### ウ 防災・治安

あなたは、災害や防犯に対する備え※ができていると感じていますか？

※災害や犯罪に対する備え……防災・防犯グッズの用意等の個人の取組み、見回り活動等の地域の取組み、ソフト・ハード面の行政の対策など



以上の結果を“4つの分類”毎に整理すると次のとおりとなる。

なお、それぞれの分類における各項目の満足度の順位は前年度と変わらなかった。

### ① 「A 夢を持っている」

「夢を持っている」に対する満足度では、「家族関係」が3.8で高く、「仕事関係」(3.1)と「教育環境」(3.0)はともに中央値程度にとどまる。

「家族関係」においては、「持っている」と回答した人が31.7%を占め、「少し持っている」を合わせた“(家族のことで将来の夢を)持っている人”は約7割を占める。

### ② 「B 誇りがある」

「誇りがある」に対する満足度では、「自然資源」が4.2で特に高く、「歴史・文化」が3.7、「地域社会とのつながり」が3.6で、3項目ともに満足度が高い。

「自然資源」においては、「感じている」の回答が45.7%を占め、「やや感じている」を合わせた“(地域の自然を素晴らしいと感じている人)”が82.6%と大半を占める。また、「歴史・文化」と「地域社会とのつながり」でも“感じている人”の割合がともに6割を超える。

### ③ 「C 経済的な安定」

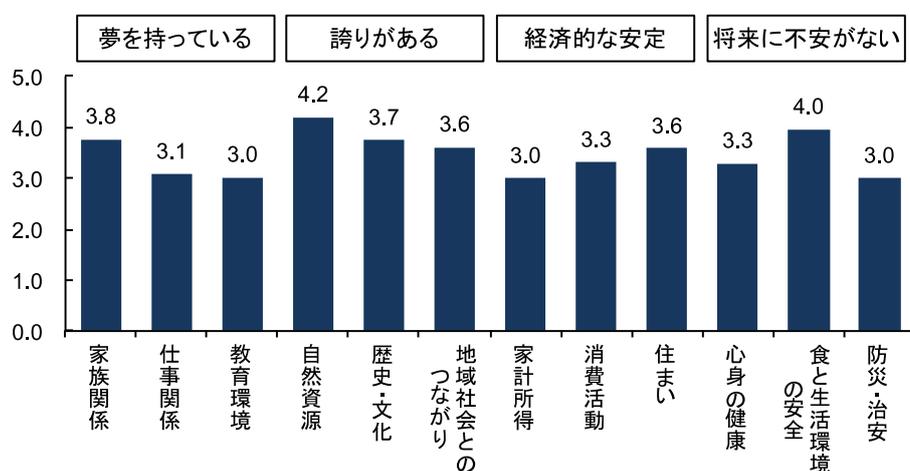
「経済的な安定」に対する満足度では、「家計所得」が3.0、「消費活動」が3.3、「住まい」が3.6となった。

「家計所得」においては、「感じている」「やや感じている」を合わせた“(必要な所得や収入が得られていると感じている人)”の割合は42.9%にとどまり、収入に対する満足度は低い。

### ④ 「D 将来に不安がない」

「将来に不安がない」に対する満足度では、「心身の健康」が3.3で中央値をやや上回り、「食と生活環境の安全」が4.0で高く、「防災・治安」が3.0となった。

「心身の健康」では“感じている人”の割合は51.5%でほぼ半数、「食と生活環境の安全」では“感じている人”の割合(75.8%)が4分の3を占めるのに対して、「防災・治安」では35.3%にとどまり、満足度は低い。



## (2) クロス集計結果・分析

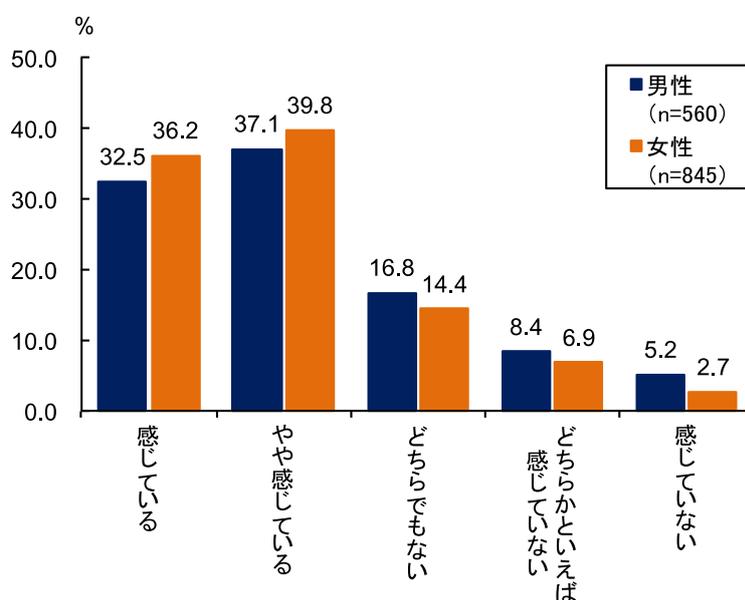
男女別、年代別、居住地別、職業別にクロス集計を行った。

なお、集計に際しては、設問ごとに回答されたすべてを対象とした。このため、回答数がそれぞれ異なっている。

また、職業別に関しては、有効回答数が特に少なく、十分な分析に必要となるデータ数を確保できていない区分があるため、示された数値に一定の誤差が含まれる点に留意する必要がある。

### ①男女別

#### 問1 直観的な幸福度について

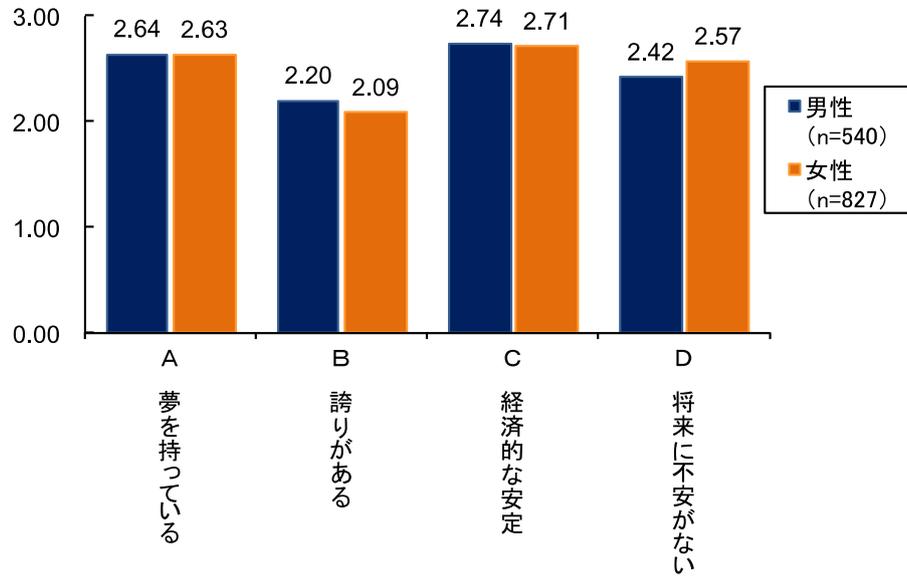


男性では、「やや感じている」と回答した割合が最も高く 37.1%、「感じている」が 32.5%で、これらを合わせた“幸福を感じている人”の割合は合わせて 69.6%。一方、女性でも、「やや感じている」が最も高く 39.8%、「感じている」が 36.2%で“幸福を感じている人”の割合は 76.0%。

“幸福を感じている人”（「感じている」＋「やや感じている」）の割合は女性が 6.4 ポイント高く、「感じている」と回答した“幸福度が高い人”の割合も女性が 3.7 ポイント高くなり、いずれも女性が男性を上回る。

## 問2 “4つの分類”のウエイト（重要度）について

“4つの分類”のウエイトの平均値は、次図のとおりである。



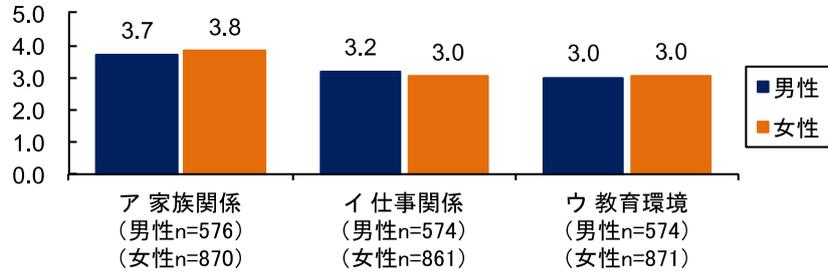
4つの分類のウエイトの平均値は、男女とも「経済的な安定」「夢を持っている」「将来に不安がない」「誇りがある」の順で同じ。

分類別では、「誇りがある」で男性が、「将来に不安がない」で女性が若干上回る。

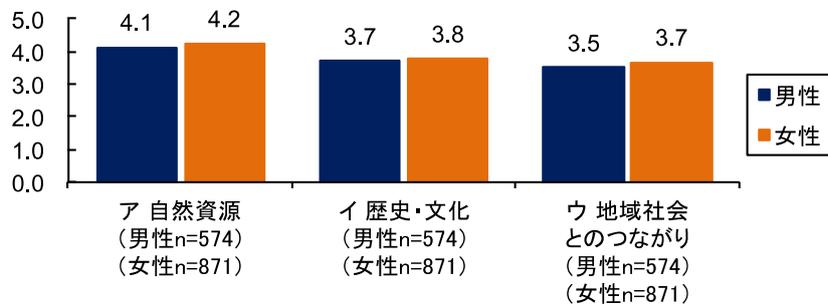
### 問3 “12の項目”に対する満足度（実感や考え）について

幸福要因の“12の項目”について、それぞれの満足度の平均値は次図のとおりである。

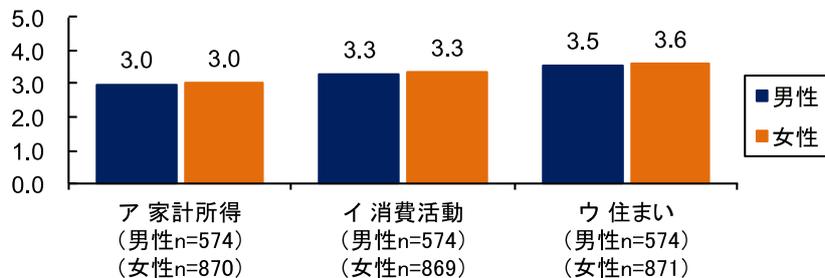
#### A 夢を持っている



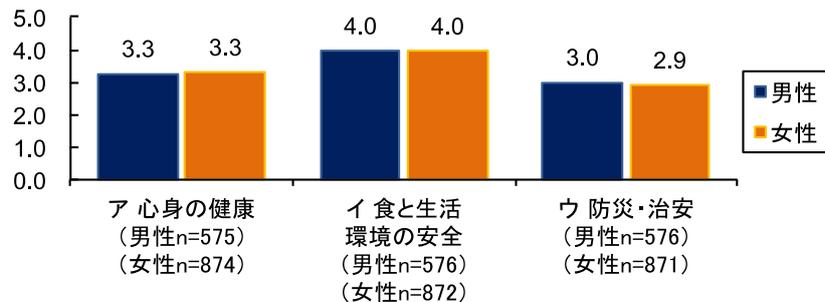
#### B 誇りがある



#### C 経済的な安定



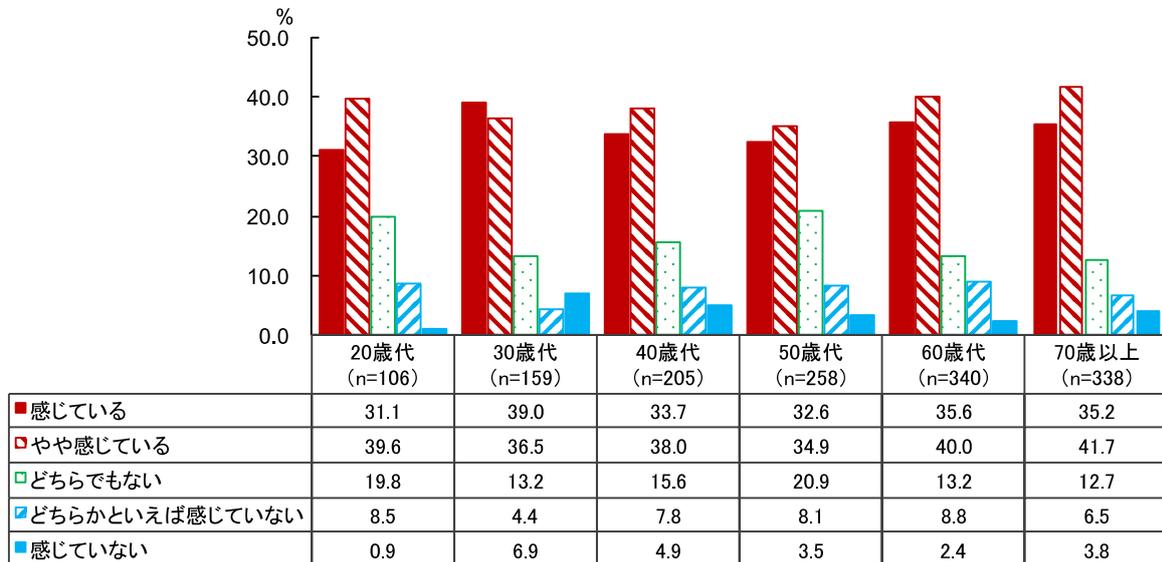
#### D 将来に不安がない



ほとんどの項目で男女同点か0.1ポイントの差。0.2ポイント以上の差があったのは、「夢を持っている」の「仕事関係」と「誇りがある」の「地域社会とのつながり」で、前者は男性が0.2ポイント、後者は女性が0.2ポイント上回る。

## ②年代別

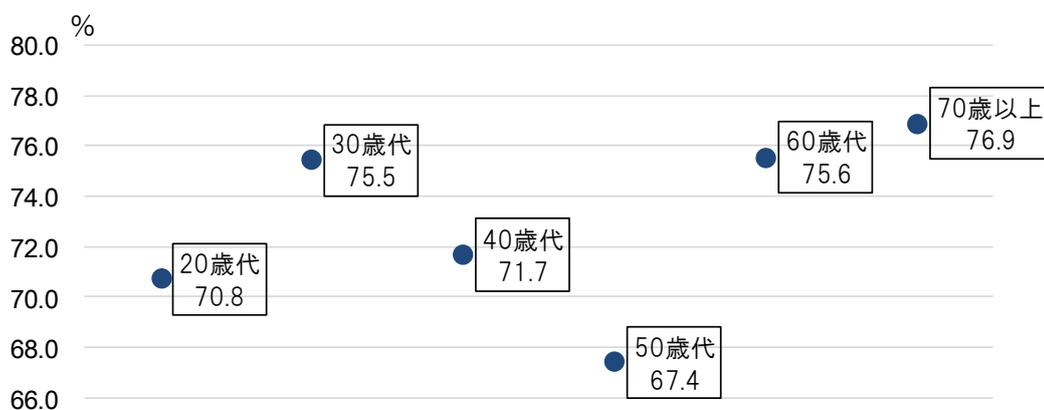
### 問1 直観的な幸福度について



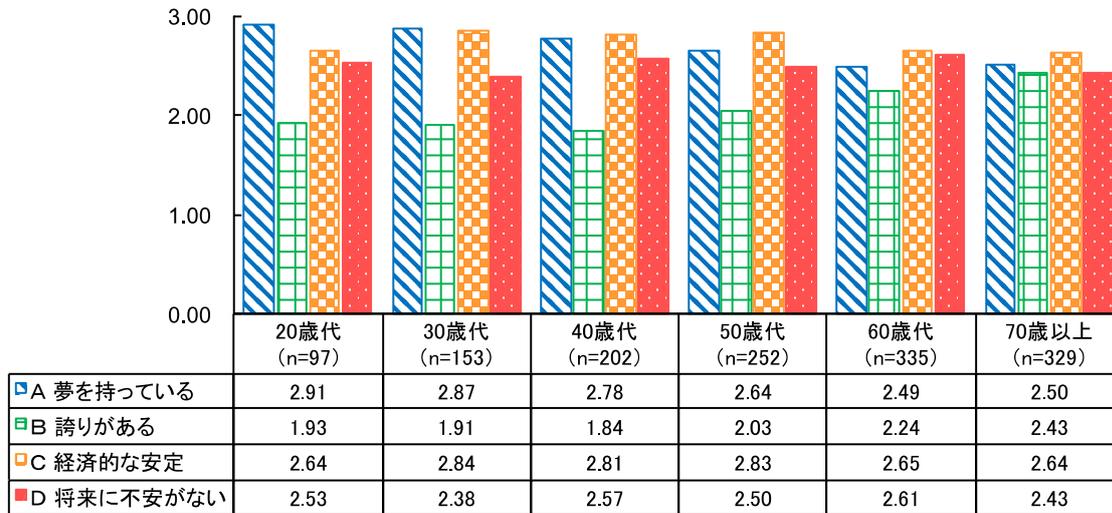
年代別にみた直観的な幸福度については、「感じている」と「やや感じている」を合わせた“幸福を感じている人”の割合は、70歳代以上が最も高く76.9%、次いで60歳代が75.6%、30歳代が75.5%の順となり、50歳代の67.4%を除いてその他の年代でも7割に達している。

また、「感じている」と回答した“幸福度が高い人”の割合は30歳代が最も高く39.0%であった。

#### 【年代別にみた“幸福を感じている人”の割合】



## 問2 “4つの分類”のウエイト（重要度）について



20～30 歳代の若年層では、「夢を持っている」が 3.00 近くで高く、これに「経済的な安定」、「将来に不安がない」が続き、「誇りがある」はいずれも 2.00 近く。一方、40～50 歳代の中年層では、「経済的な安定」が最も高く、「夢を持っている」「将来に不安がない」「誇りがある」の順となった。

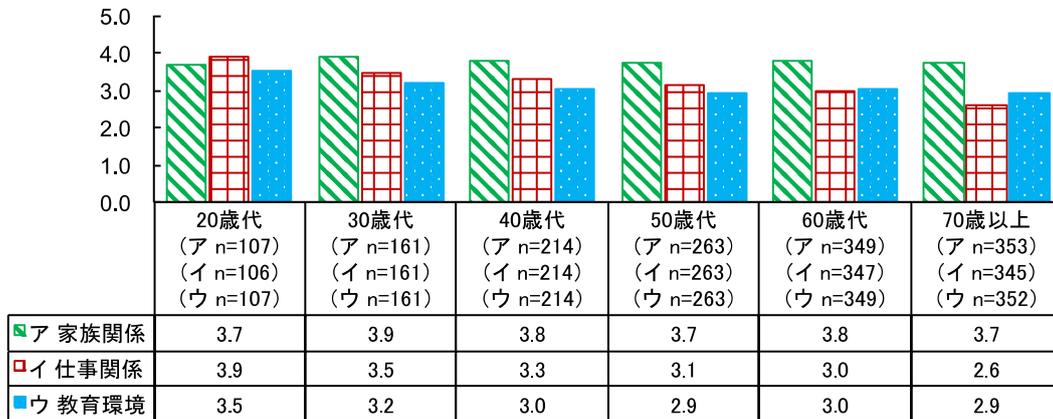
また、60 歳以上の高年層になると 4 つの分類の差が小さくなる。60 歳代では「経済的な安定」「将来に不安がない」「夢を持っている」「誇りがある」の順となった。70 歳以上では「経済的な安定」が最も高く、ついで「夢を持っている」の順となっており、「誇りがある」と「将来に不安がない」はいずれも 2.43 で差がなかった。

類 型	年 代
[類型Ⅰ] 「A 夢を持っている」 → 「C 経済的な安定」 → 「D 将来に不安がない」 → 「B 誇りがある」	20 歳代 30 歳代
[類型Ⅳ] 「C 経済的な安定」 → 「A 夢を持っている」 → 「B 誇りがある」 = 「D 将来に不安がない」	70 歳以上
[類型Ⅴ] 「C 経済的な安定」 → 「A 夢を持っている」 → 「D 将来に不安がない」 → 「B 誇りがある」	40 歳代 50 歳代
[類型Ⅵ] 「C 経済的な安定」 → 「D 将来に不安がない」 → 「A 夢を持っている」 → 「B 誇りがある」	60 歳代

### 問3 “12の項目”に対する満足度（実感や考え）について

“4つの分類”ごとに、各項目の満足度の平均値を年代別に比較した。

#### A 夢を持っている

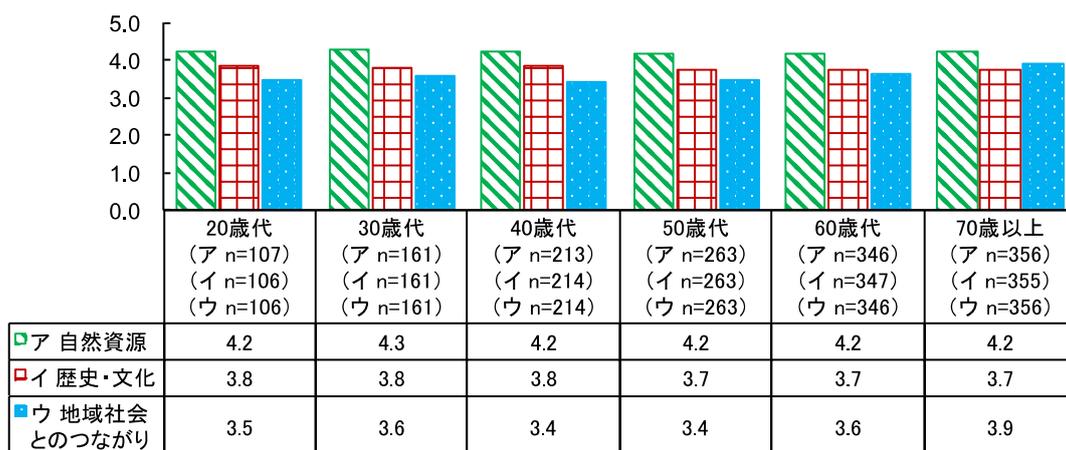


「家族関係」では、30歳代の3.9をはじめ、すべての年代で高い。

「仕事関係」では、20歳代が3.9、30歳代が3.5と若い年代で高く、70歳以上は2.6で中央値を下回り低い。

「教育環境」では、20歳代が3.5となり、30歳以上ではすべての年代が中央値3.0前後となっている。

#### B 誇りがある

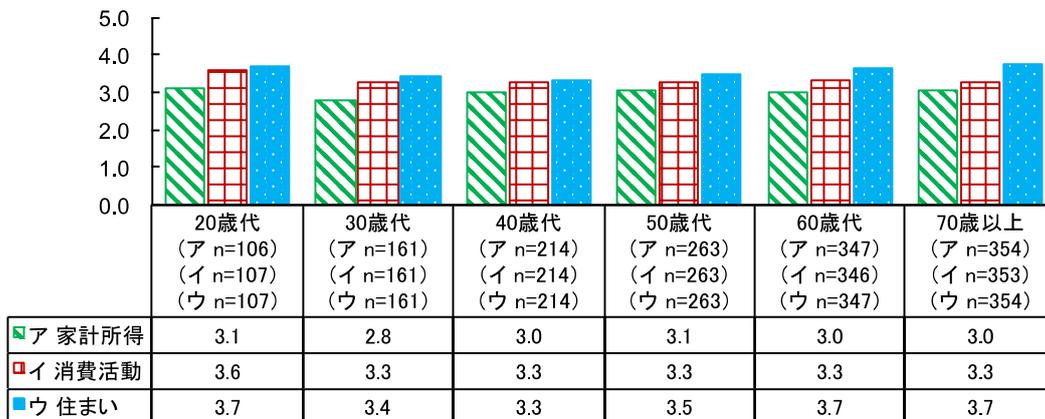


「自然資源」では、すべての年代で4.0を超え高い。

「歴史・文化」では、すべての年代が3.7と3.8でほぼ並んでいる。

「地域社会とのつながり」では、70歳以上が3.9で高く、30歳代と60歳代が3.6、20歳代が3.5、40～50歳代は3.4で最も低い。

## C 経済的な安定

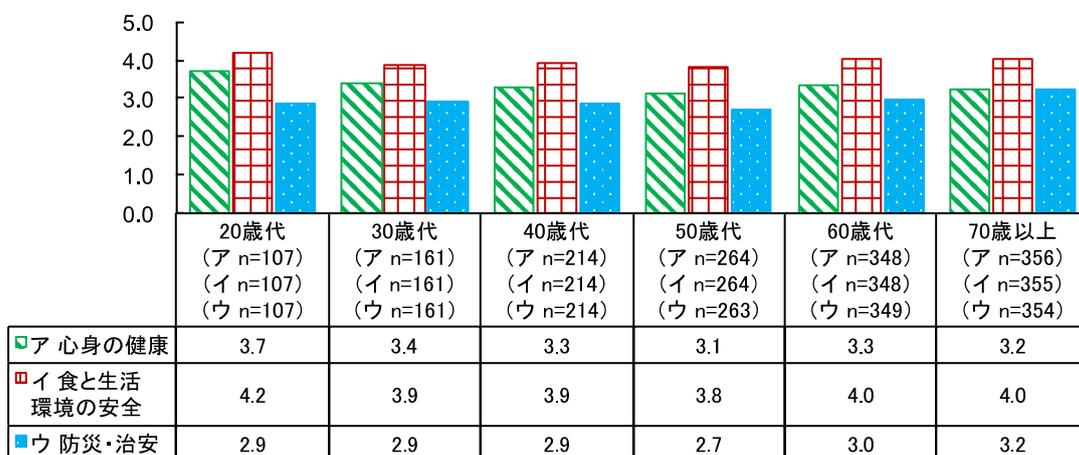


「家計所得」では、30歳代が2.8で最も低く、すべての年代で中央値3.0前後。

「消費活動」では、20歳代が3.6でやや高く、30歳代以上は、すべての年代が3.3で並ぶ。

「住まい」では、20歳代と60歳以上が3.7で高く、その他の年代は3.3から3.5でほぼ並ぶ。

## D 将来に不安がない



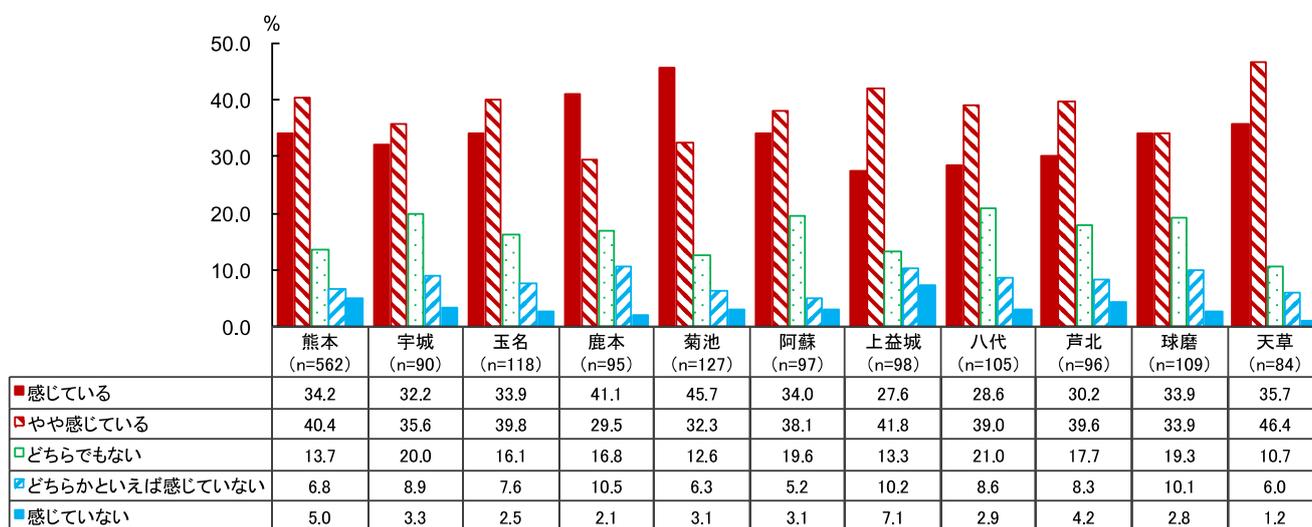
「心身の健康」では、20歳代が3.7で高く、50歳代が3.1で最も低い。

「食と生活環境の安全」では、20歳代が4.2で最も高く、60歳代と70歳以上が4.0、その他の年代が3.8以上で大きな差はみられない。

「防災・治安」では、70歳以上が3.2で最も高く、50歳代が2.7で最も低い。その他の年代では、ほぼ中央値3.0前後となっている。

### ③地域別

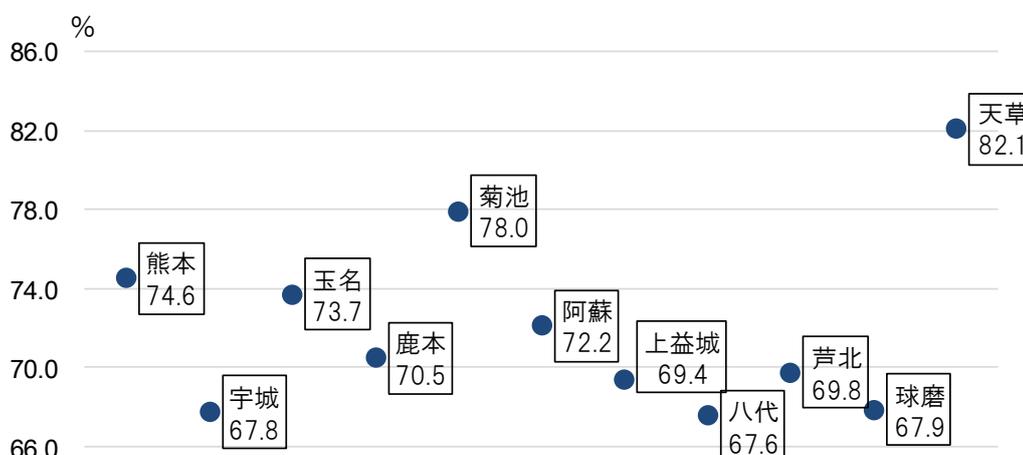
## 問1 直観的な幸福度について



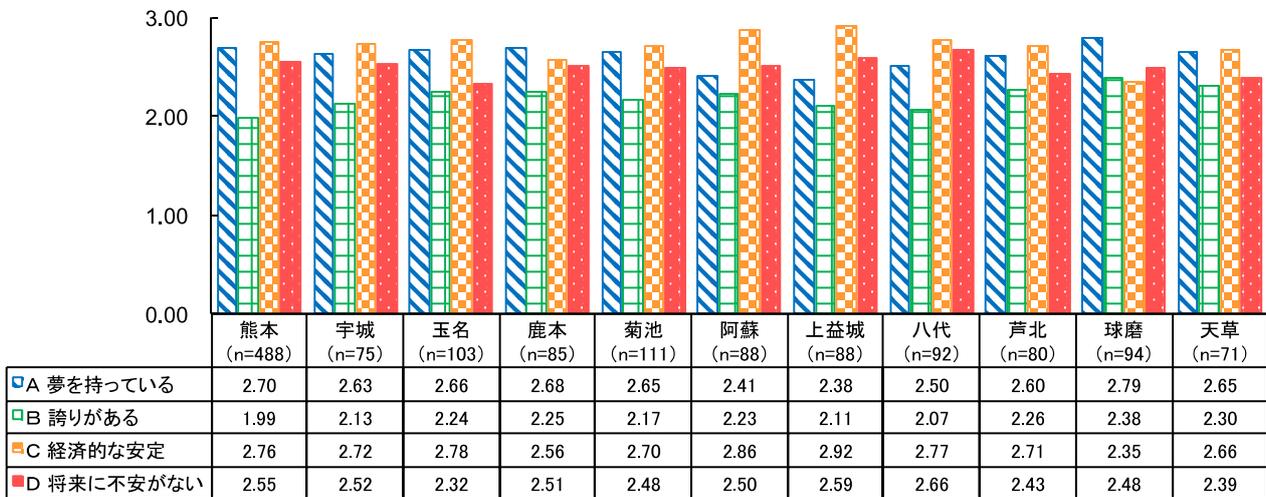
直観的な幸福度については、「感じている」と「やや感じている」を合わせた“幸福を感じている人”の割合は、天草が最も高く 82.1%、次いで菊池が 78.0%、熊本が 74.6%の順となり、その他の地域では7割前後となった。

また、「感じている」と回答した“幸福度が高い人”の割合は、菊池が 45.7%で特に高く、これに対して上益城が 27.6%で最も低い。

### 【地域別にみた“幸福を感じている人”の割合】



## 問2 “4つの分類”のウエイト（重要度）について



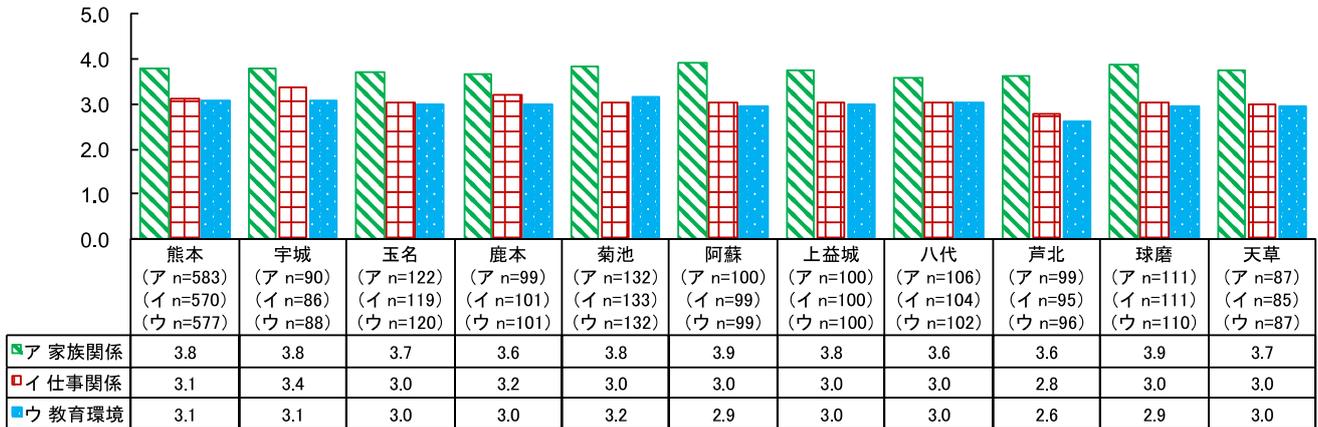
ウエイトの高さの順に11地域を整理すると、下表のようになった。

類 型	地 域
[類型Ⅰ] 「A 夢を持っている」 → 「C 経済的な安定」 → 「D 将来に不安がない」 → 「B 誇りがある」	鹿本
[類型Ⅱ] 「A 夢を持っている」 → 「D 将来に不安がない」 → 「B 誇りがある」 → 「C 経済的な安定」	球磨
[類型Ⅴ] 「C 経済的な安定」 → 「A 夢を持っている」 → 「D 将来に不安がない」 → 「B 誇りがある」	熊本 宇城 玉名 菊池 芦北 天草
[類型Ⅵ] 「C 経済的な安定」 → 「D 将来に不安がない」 → 「A 夢を持っている」 → 「B 誇りがある」	阿蘇 上益城 八代

### 問3 “12の項目”に対する満足度（実感や考え）について

“4つの分類”ごとに、各項目の満足度の平均値を地域別に比較した。

#### A 夢を持っている

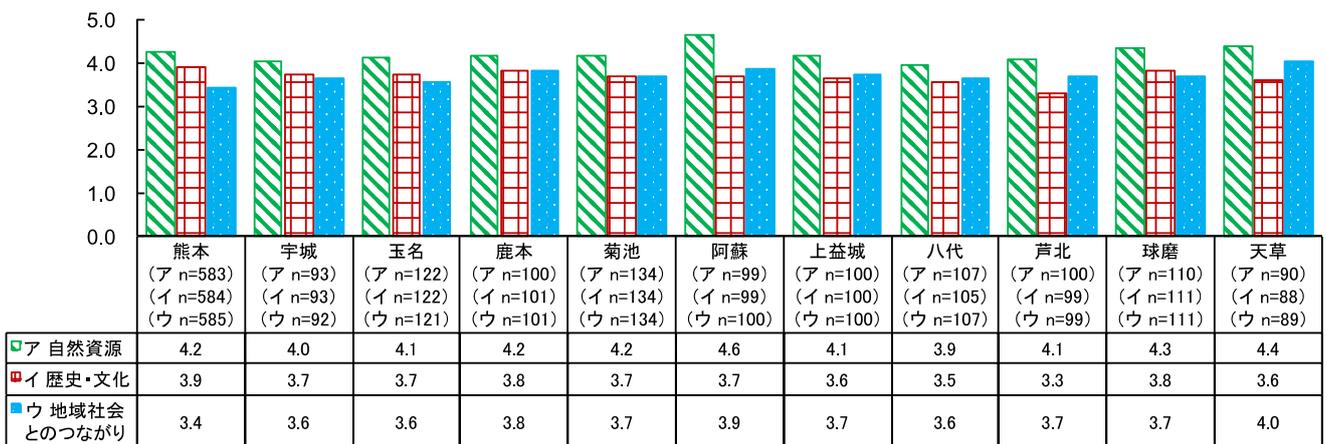


「家族関係」では、阿蘇と球磨が3.9で他の地域と比べやや高い。

「仕事関係」では、宇城が3.4で高く、他の地域は中央値3.0前後に集中している。

「教育環境」では、菊池が3.2で最も高いが、芦北は2.6で最も低い。その他は、すべての地域で2.9~3.1と中央値3.0前後に集中している。

#### B 誇りがある

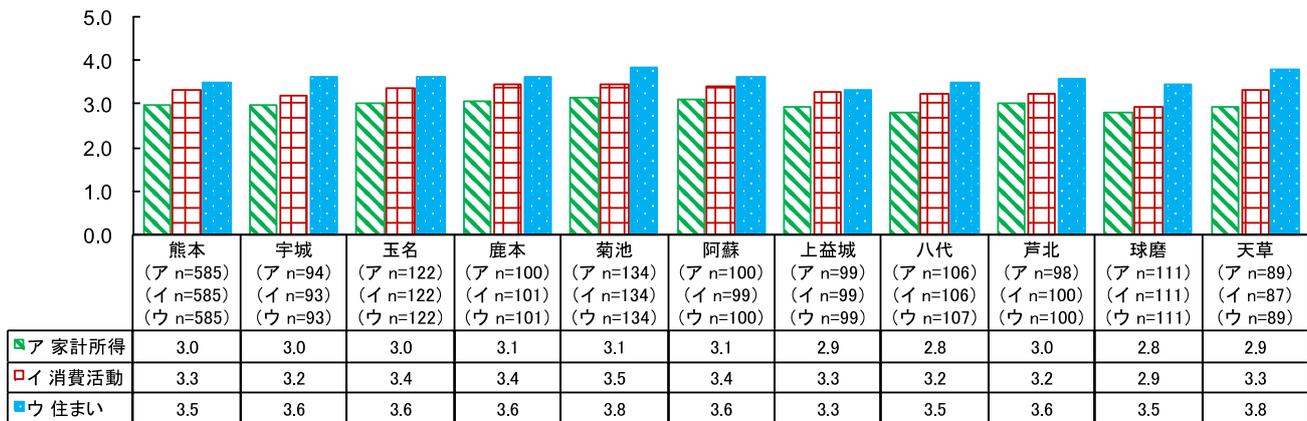


「自然資源」では、八代の3.9、宇城の4.0以外、すべての地域で4.0を超え高く、阿蘇は4.6でほぼ満点に近い評価。

「歴史・文化」では、熊本が3.9で最も高く、芦北が3.3で最も低い。

「地域社会とのつながり」では、天草が4.0で最も高い。最も低いのは熊本の3.4。

## C 経済的な安定

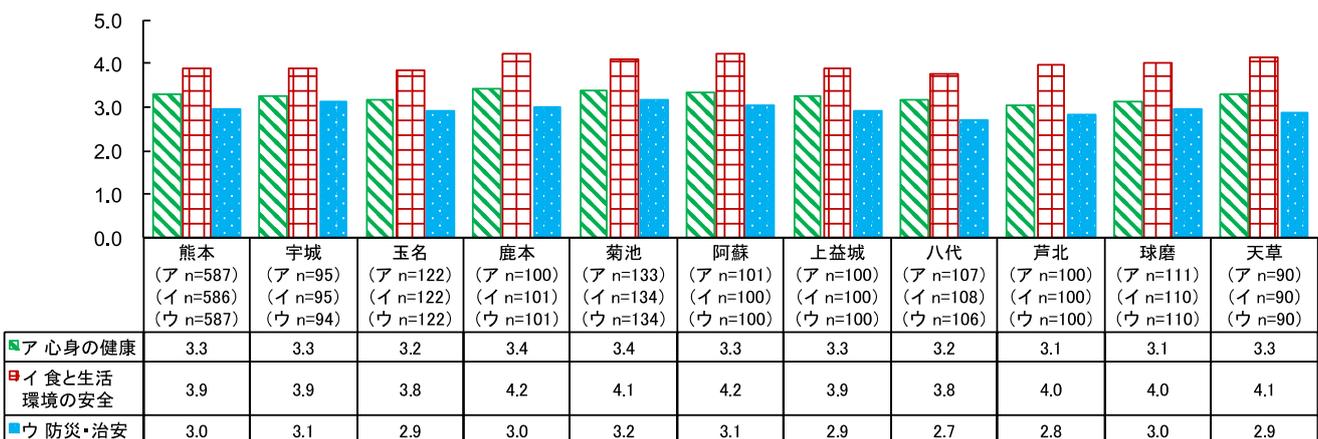


「家計所得」では、すべての地域で 2.8～3.1 の中央値近くにとどまる。

「消費活動」では、菊池が 3.5 で最も高く、玉名、鹿本、阿蘇が 3.4 で他の地域と比べやや高く、球磨が 2.9 で最も低い。

「住まい」では、菊池と天草が 3.8 で最も高く、上益城が 3.3 で最も低い。

## D 将来に不安がない



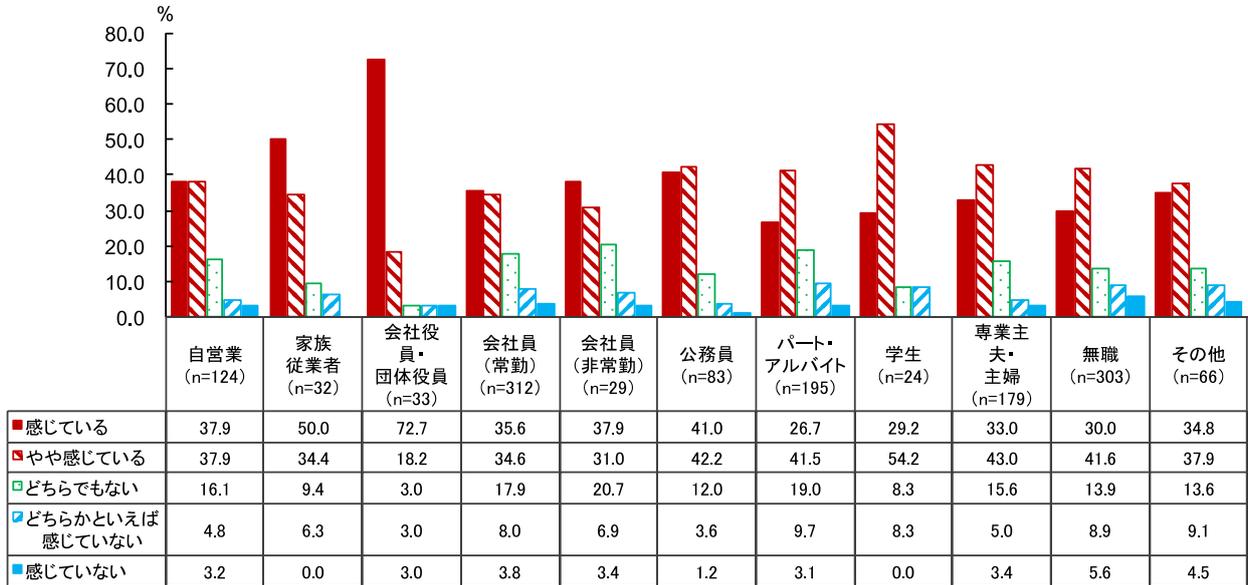
「心身の健康」では、鹿本と菊池が 3.4 で最も高く、芦北と球磨が 3.1 で最も低い。

「食と生活環境の安全」では、すべての地域で高く、鹿本、阿蘇、菊池、天草では 4.0 を超える。

「防災・治安」では、菊池が 3.2 で最も高く、八代が 2.7 で最も低い。その他の地域は中央値の 3.0 前後となっている。

#### ④職業別

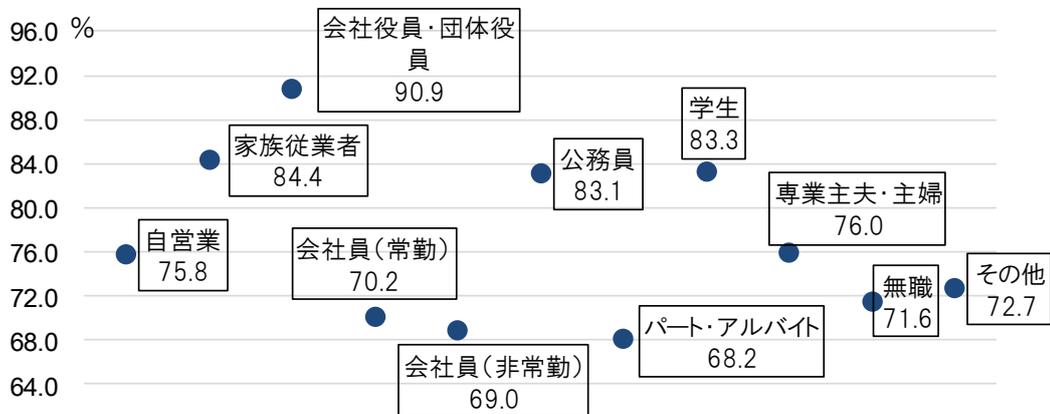
### 問1 直観的な幸福度について



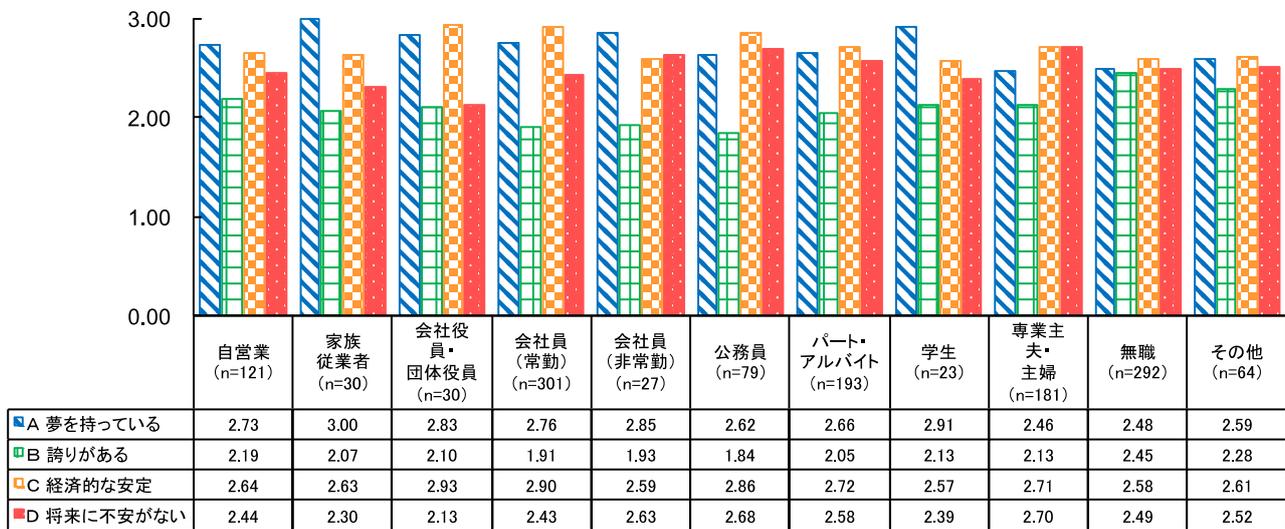
直観的な幸福度については、「感じている」と「やや感じている」を合わせた“幸福を感じている人”の割合は、会社役員・団体役員が90.9%で特に高く、次いで家族従業者(84.4%)、学生(83.3%)、公務員(83.1%)が8割に達する。これに対して、低いのはパート・アルバイト(68.2%)、会社員(非常勤)(69.0%)で60%台にとどまる。

また、「感じている」と回答した“幸福度が高い人”の割合は、会社役員・団体役員が72.7%で7割を超え、家族従業者が50.0%で続く。

#### 【職業別にみた“幸福を感じている人”の割合】



## 問2 “4つの分類”のウエイト（重要度）について



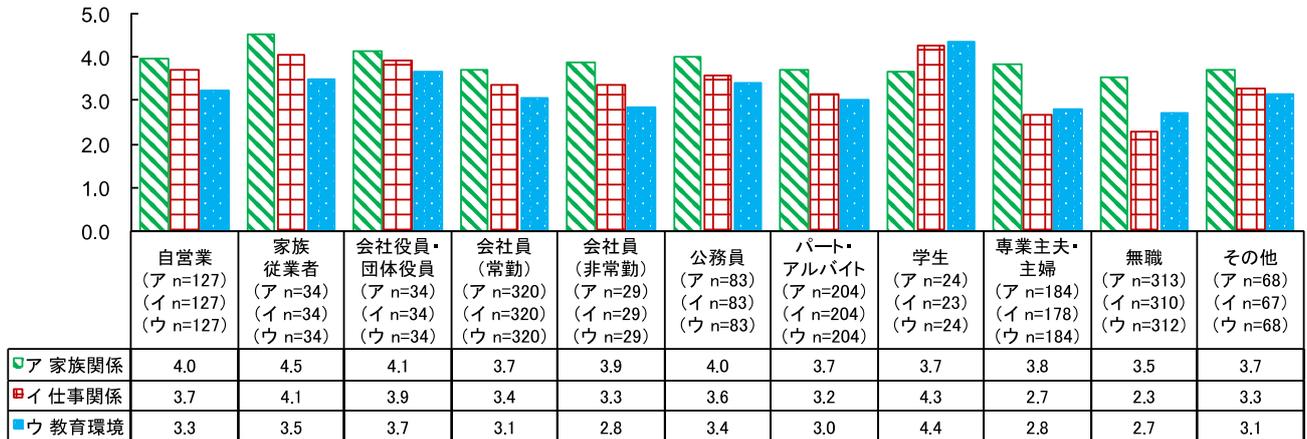
ウエイトの高さの順に職業別に整理すると、下表のようになった。

類 型	職 業
[類型Ⅰ] 「A 夢を持っている」 → 「C 経済的な安定」 → 「D 将来に不安がない」 → 「B 誇りがある」	自営業 家族従業者 学生
[類型Ⅲ] 「A 夢を持っている」 → 「D 将来に不安がない」 → 「C 経済的な安定」 → 「B 誇りがある」	会社員（非常勤）
[類型Ⅴ] 「C 経済的な安定」 → 「A 夢を持っている」 → 「D 将来に不安がない」 → 「B 誇りがある」	会社役員・団体役員 会社員（常勤） その他 パート・アルバイト
[類型Ⅵ] 「C 経済的な安定」 → 「D 将来に不安がない」 → 「A 夢を持っている」 → 「B 誇りがある」	公務員 無職 専業主夫・主婦

### 問3 “12の項目”に対する満足度（実感や考え）について

“4つの分類”ごとに、各項目の満足度の平均値を職業別に比較した。

#### A 夢を持っている

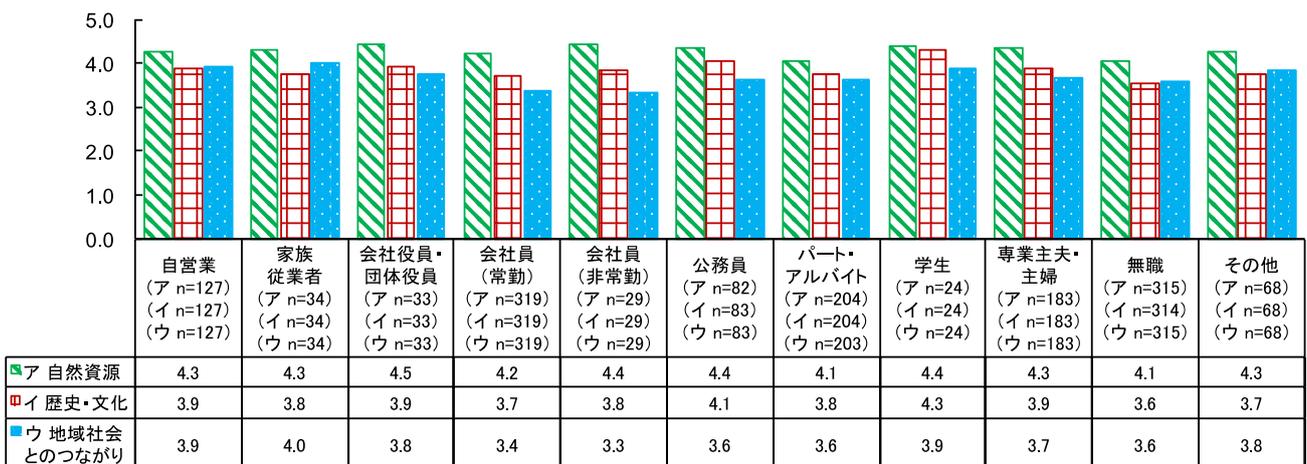


「家族関係」では、家族従業者が4.5で最も高く、会社役員・団体役員が4.1で続く。

「仕事関係」では、学生が4.3、家族従業者が4.1で高く、専業主夫・主婦、無職が3.0を下回り低い。

「教育環境」では、学生が4.4で特に高く、無職、会社員（非常勤）、専業主夫・主婦が3.0を下回り低い。

#### B 誇りがある

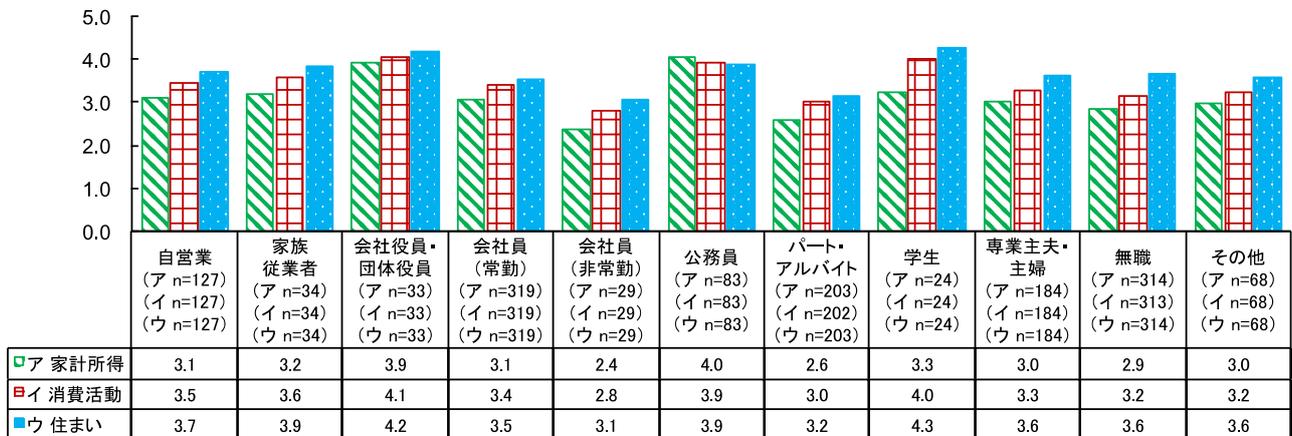


「自然資源」では、すべての職業で4.0を上回る。

「歴史・文化」では、学生が4.3で高く、無職が3.6で最も低い。

「地域社会とのつながり」では、家族従業者が4.0で最も高く、自営業、学生が3.9で続く。低いのは会社員（非常勤）が3.3、会社員（常勤）が3.4。

## C 経済的な安定

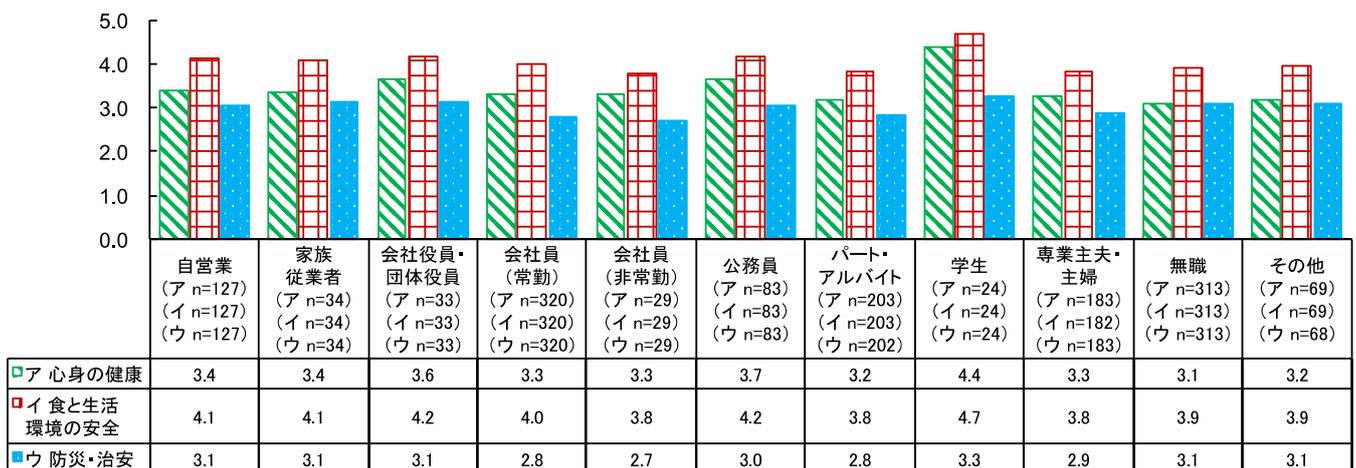


「家計所得」では、公務員が4.0で高く、次いで会社役員・団体役員3.9の順。逆に、会社員（非常勤）が2.4、パート・アルバイトが2.6で低い。

「消費活動」では、会社役員・団体役員4.1、学生が4.0で高く、会社員（非常勤）が3.0を下回る。

「住まい」では、学生が4.3、会社役員・団体役員が4.2で高い。

## D 将来に不安がない



「心身の健康」では、学生が4.4で高く、その他の職業は3.1～3.7。

「食と生活環境の安全」では、学生が4.7で特に高く、会社役員・団体役員と公務員が4.2で続く。

「防災・治安」では、学生が3.3で最も高く、会社員（非常勤）が2.7で最も低い。これ以外の職業は中央値3.0前後となっている。

## ⑤まとめ

クロス集計の結果について、まとめると以下ようになる。

### ア 男女別

直観的な幸福度については、“幸福を感じている人”（「感じている」＋「やや感じている」）の割合は、男性が69.6%に対して女性が76.0%で、女性が6.4ポイント上回る。女性が男性を上回るのは前回（平成27年）とも同様となっているが、その差は縮小した。

4つの分類のウエイトについては、男女とも「経済的な安定」「夢を持っている」「将来に不安がない」「誇りがある」の順で大きい。

12の項目の満足度については、ほとんどの項目で男女同点か0.1ポイントの差。0.2ポイントの差があったのは2項目で、「夢を持っている」の「仕事関係」では男性が上回り、「誇りがある」の「地域社会とのつながり」では女性が上回る。

### イ 年代別

直観的な幸福度については、“幸福を感じている人”の割合は70歳以上が最も高く76.9%、60歳代が75.6%、30歳代が75.5%の順となり、50歳代の67.4%を除いて、その他の年代でも7割に達している。

4つの分類のウエイトについては、20～30歳代の若年層では、「夢を持っている」の重要度が高く、これに「経済的な安定」、「将来に不安がない」と続き、「誇りがある」はいずれも2.00弱にとどまる。一方、40歳以上では「経済的な安定」が最も高い。40～50歳代は「経済的な安定」「夢を持っている」「将来に不安がない」「誇りがある」の順で大きい。また、60歳以上では4つの分類の差が小さくなる。60歳代では「経済的な安定」「将来に不安がない」「夢を持っている」「誇りがある」の順で大きい。70歳以上では「経済的な安定」に次いで「夢を持っている」、「誇りがある」と「経済的な安定」は同じ値となった。

12の項目の満足度については、「夢を持っている」では、「家族関係」は30歳代の3.9をはじめ、すべての年代で高い。「仕事関係」は20～30歳代の若い年代が高く、70歳以上が低い。「教育環境」は20歳代が高く、他の年代は中央値3.0前後となっている。

「誇りがある」では、「自然資源」はすべての年代で4.0を超え高く、「歴史・文化」はすべての年代でほぼ並び、「地域社会とのつながり」は70歳以上の高年層が最も高く、その他の年代は中央値よりもやや高く、あまり差がない。

「経済的な安定」では、「家計所得」はすべての年代で中央値3.0前後となっている。「消費活動」は20歳代が最も高く、30歳以上のすべての年代が中央値3.0よりやや高く、大きな差はみられない。「住まい」は20歳代、60歳以上が高く、比べて30～50歳代がやや下回っている。

「将来に不安がない」では、「心身の健康」は20歳代が高く、50歳代が低い。「食と生活環境の安全」はすべての年代で大きな差はみられない。「防災・治安」では70歳以上が高く、50歳代が低い。その他の年代はほぼ中央値3.0前後となっている。

## ウ 地域別

直観的な幸福度については、“幸福を感じている人”の割合は、天草が82.1%、菊池が78.0%、熊本が74.6%の順で高く、その他の地域では7割前後となっている。

4つの分類のウエイトについては、4つのパターンに分かれる。鹿本では「夢を持っている」が高く「経済的な安定」「将来に不安がない」「誇りがある」の順、球磨では「夢を持っている」が高く「将来に不安がない」「誇りがある」「経済的な安定」の順、熊本、宇城、玉名、菊池、芦北、天草では「経済的な安定」が高く「夢を持っている」「将来に不安がない」「誇りがある」の順、阿蘇、上益城、八代では「経済的な安定」が高く「将来に不安がない」「夢を持っている」「誇りがある」の順となった。

12の項目の満足度については、「夢を持っている」では、「家族関係」で阿蘇、球磨が高く、「仕事関係」で宇城が最も高い。「教育環境」では芦北がやや低いが、地域間で大きな差はみられない。

「誇りがある」では、「自然資源」で阿蘇が特に高く満点に近い。「歴史・文化」で熊本、鹿本、球磨が高く、「地域社会とのつながり」で天草、阿蘇が高い。

「経済的な安定」では、「家計所得」では大きな差がない。「消費活動」では、菊池が高く、球磨が低い。「住まい」では菊池が高く、上益城がやや低い。

「将来に不安がない」では、「心身の健康」で鹿本と菊池がやや高く、芦北、球磨がやや低い。「食と生活環境の安全」で鹿本、阿蘇が高いが、地域間で大きな差はみられない。「防災・治安」では、菊池と天草が高く、八代が低い。

## エ 職業別

直観的な幸福度については、“幸福を感じている人”の割合は、会社役員・団体役員が90.9%で特に高く、家族従業者、学生、公務員が8割に達する。これに対して、低いのはパート・アルバイト、会社員（非常勤）で60%台にとどまる。

4つの分類のウエイトについては、自営業、家族従業者、会社員（非常勤）、学生では「夢を持っている」が最も高く、会社役員・団体役員、会社員（常勤）、公務員、パート・アルバイト、専業主夫・主婦、無職、その他では「経済的な安定」が最も高い。

12の項目の満足度については、「夢を持っている」では、「家族関係」で家族従業者と会社役員・団体役員が高く、「仕事関係」で学生と家族従業者が高く、専業主夫・主婦と無職が低い。「教育環境」で学生が特に高く、無職、会社員（非常勤）、専業主夫・主婦が低い。

「誇りがある」では、「自然資源」ですべての職業で高く、「歴史・文化」では学生が高く、無職が低い。「地域社会とのつながり」では家族従業者、自営業、学生が高く、会社員（常勤）と会社員（非常勤）が低い。

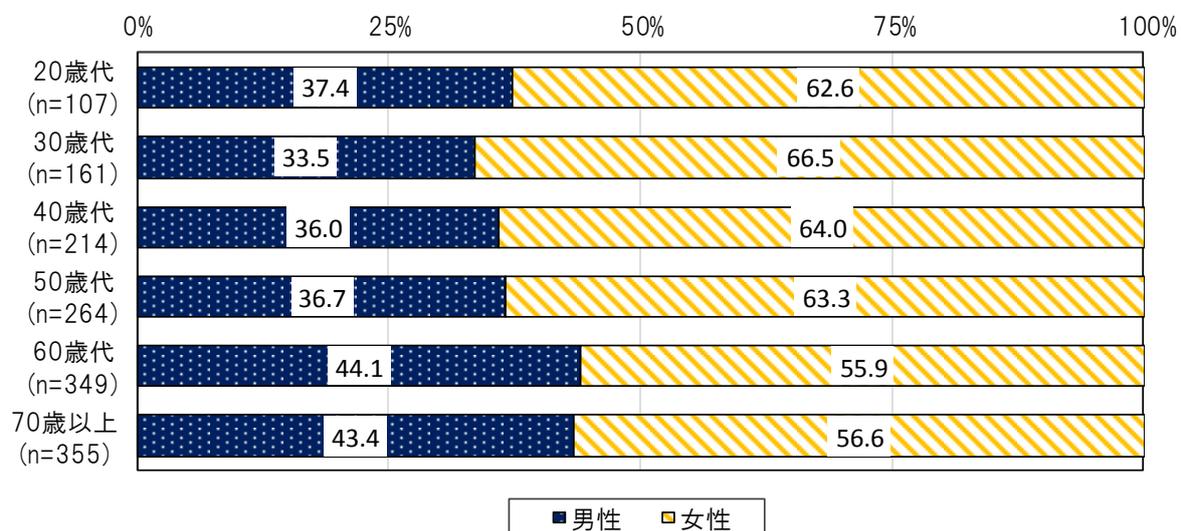
「経済的な安定」では、「家計所得」で公務員と会社役員・団体役員が高く、会社員（非常勤）とパート・アルバイトが低い。「消費活動」で会社役員・団体役員と学生が高く、会社員（非常勤）が低い。「住まい」では学生と会社役員・団体役員が高い。

「将来に不安がない」では、「心身の健康」で学生が高く、無職が低い。「食と生活環境の安全」では、学生が高いが、その他はあまり大差はない。「防災・治安」では、学生が高く、会社員（非常勤）が低い。その他は大きな差はなかった。

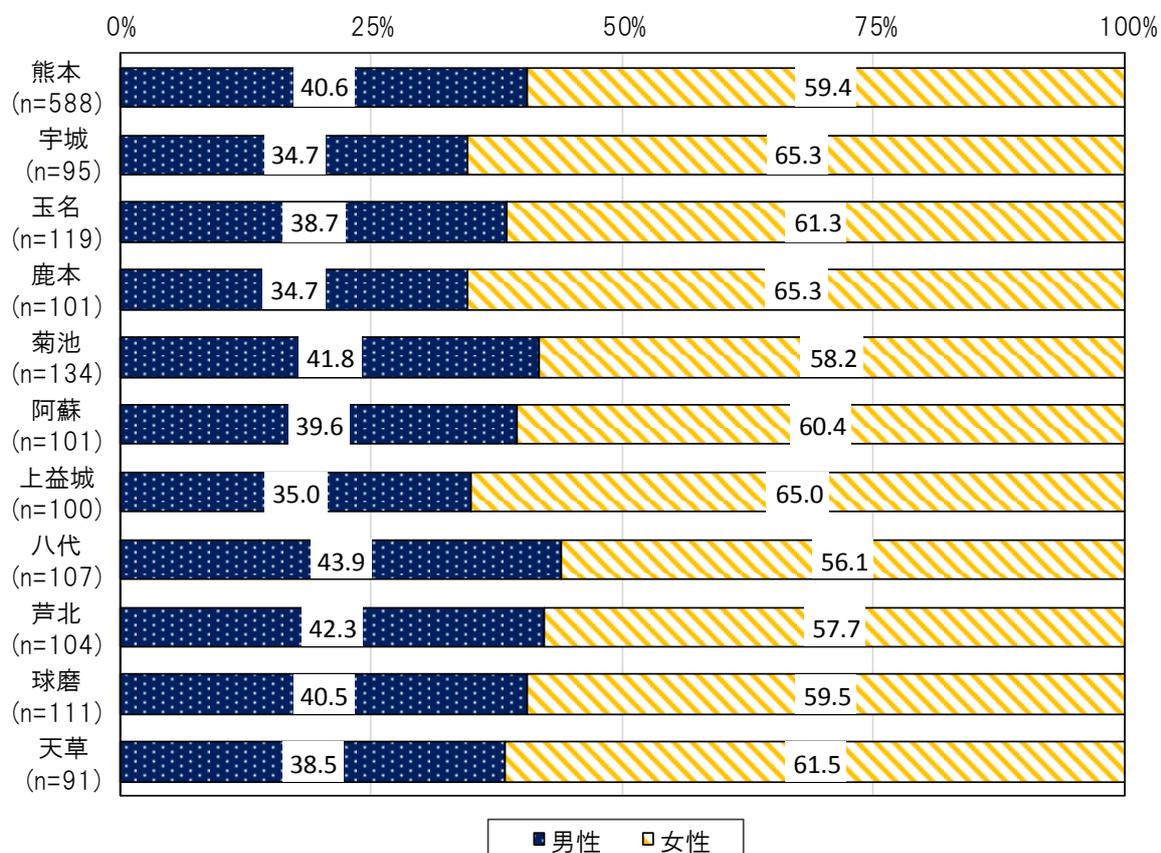
### (3) 属性

#### 問4 性別

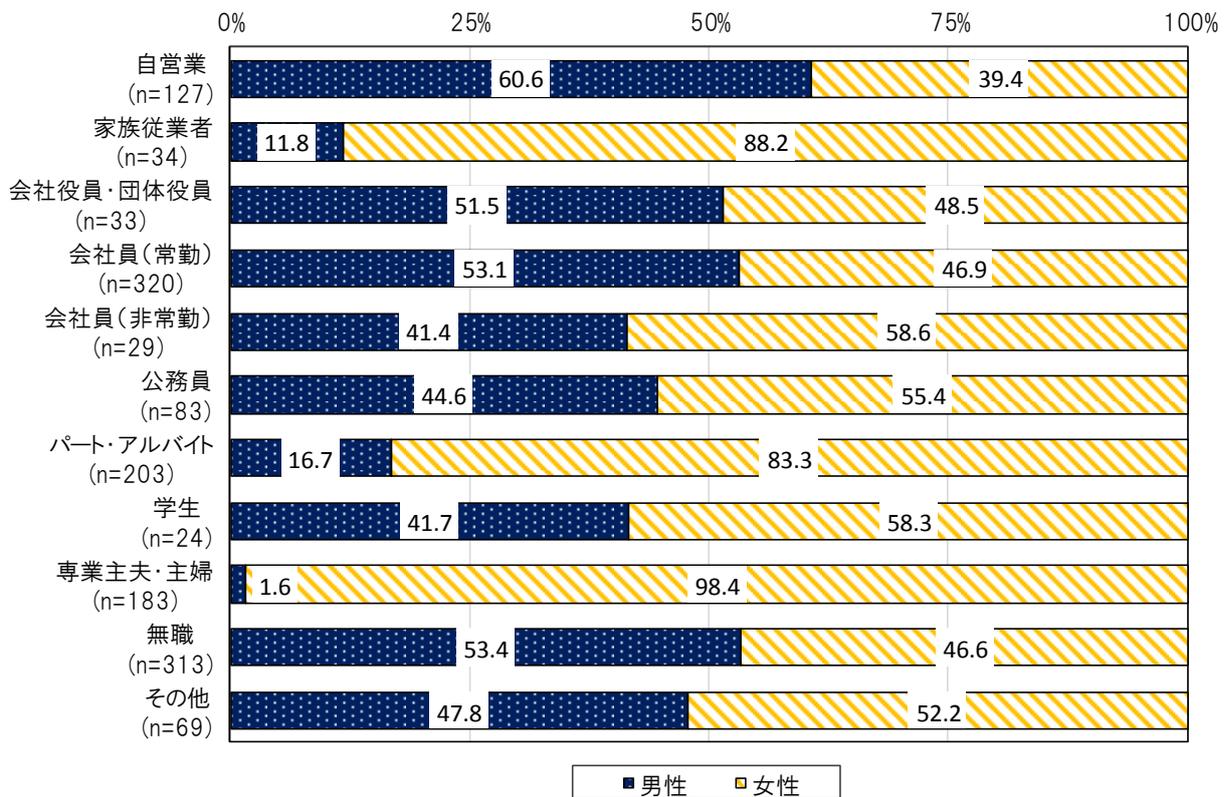
##### ①年代別



##### ②地域別

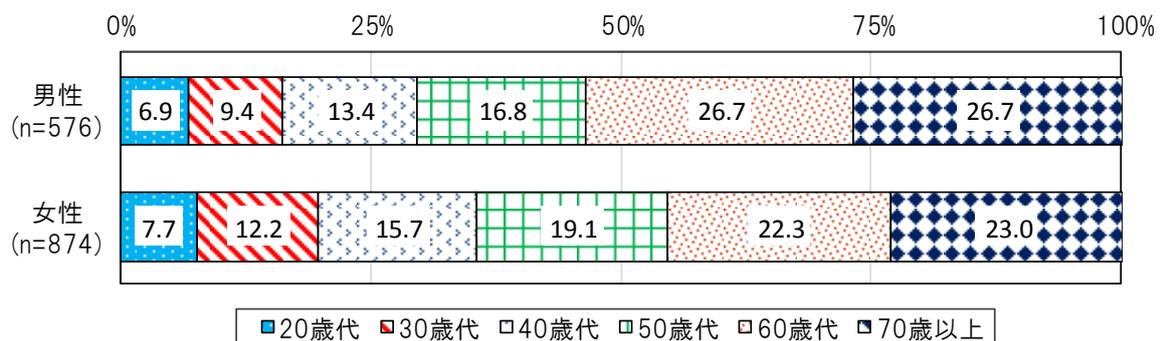


### ③職業別

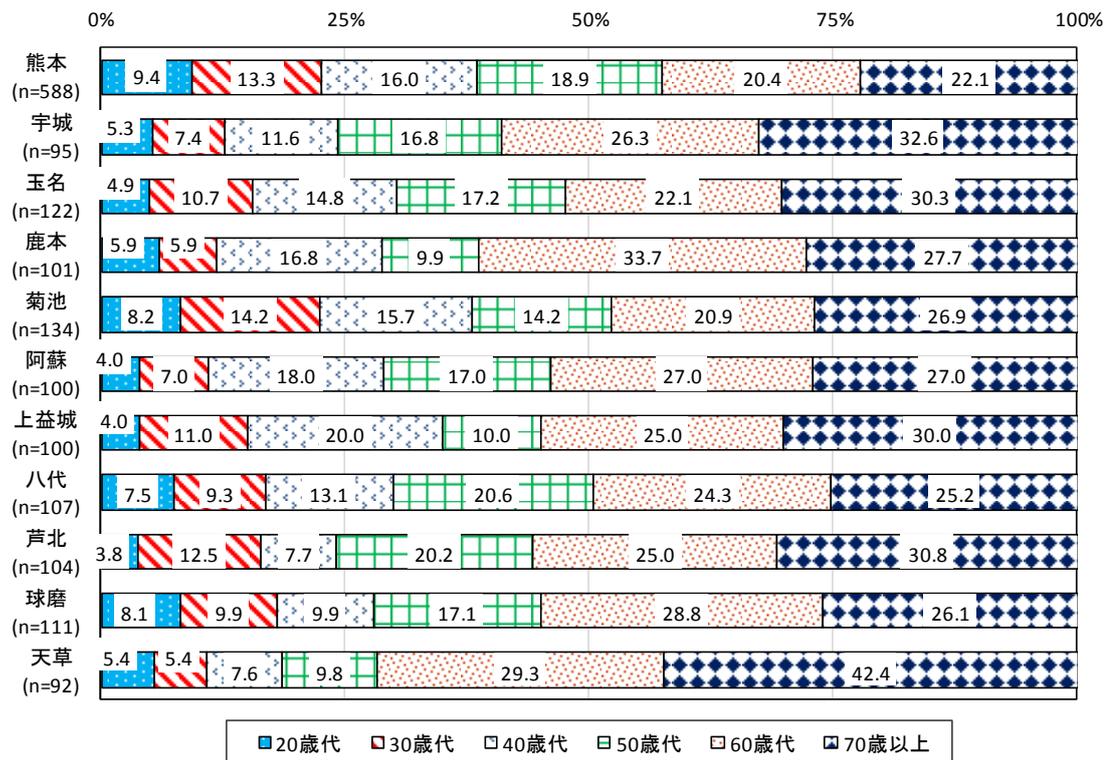


## 問5 年代

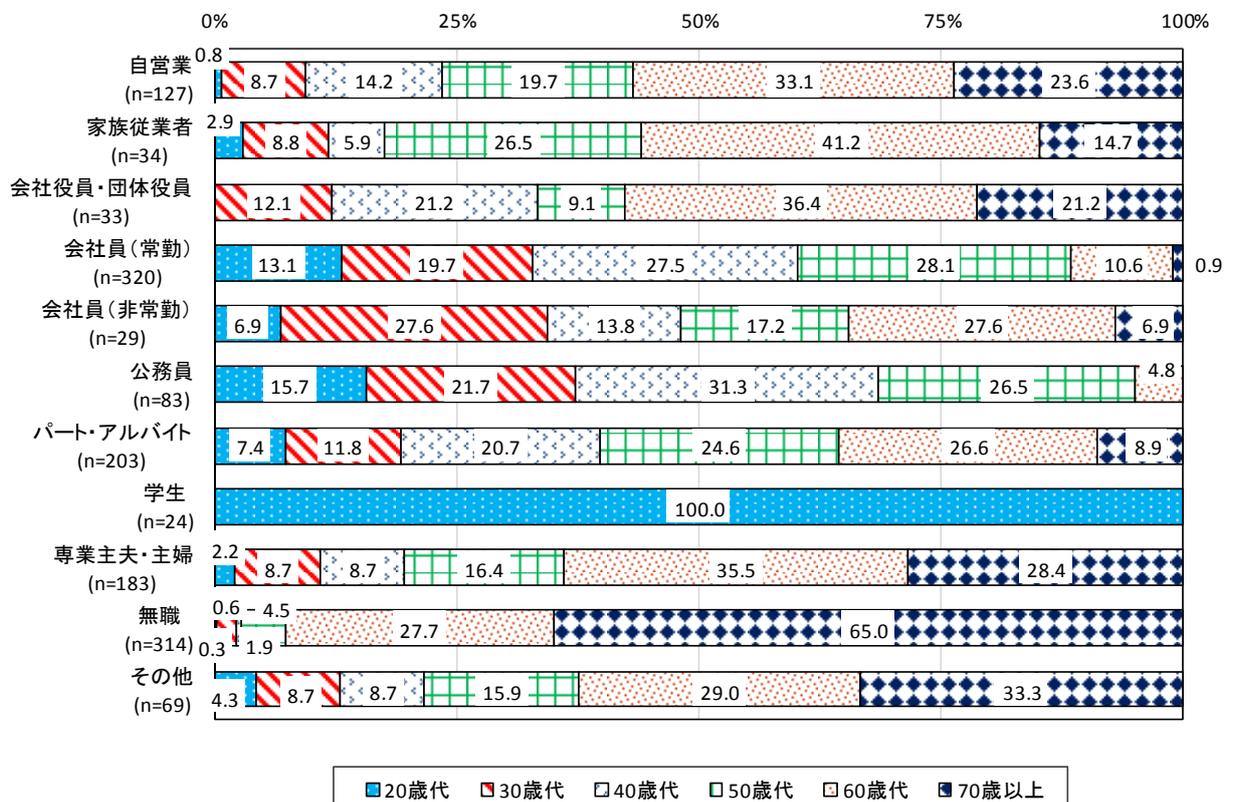
### ①性別



## ②地域別

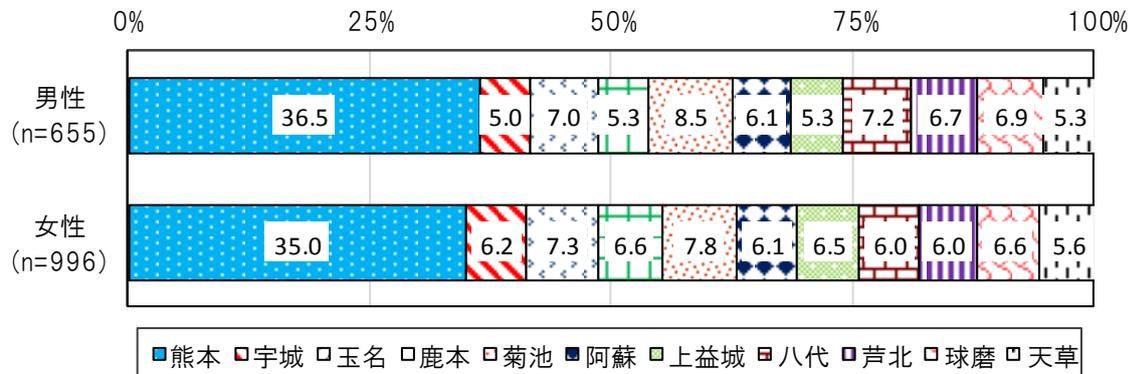


## ③職業別

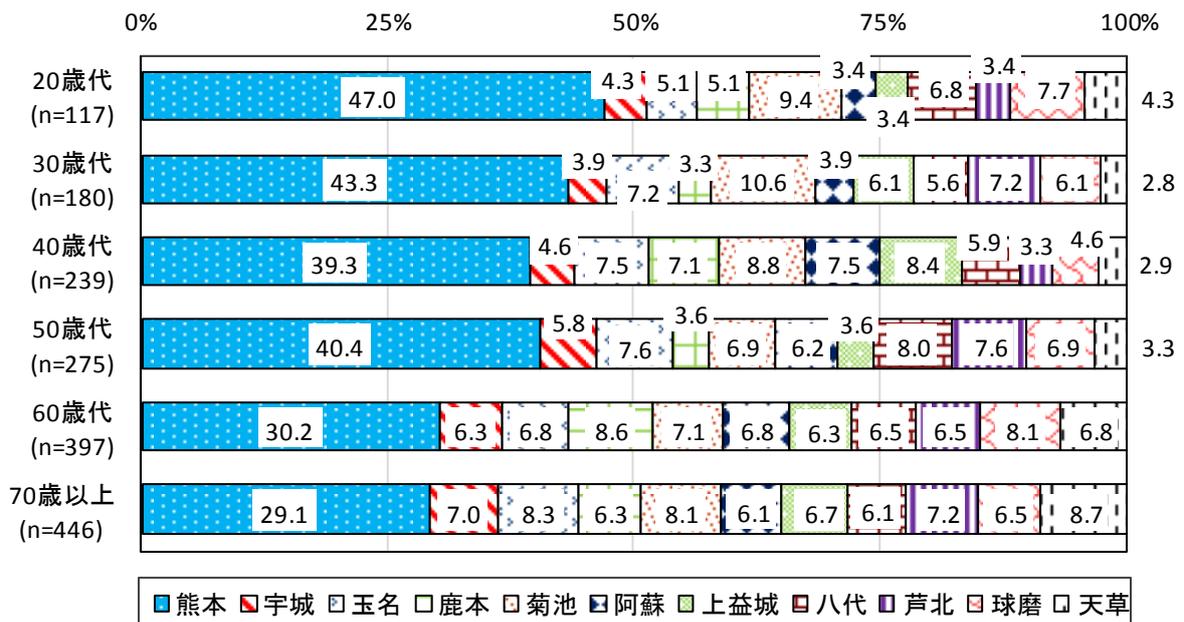


## 問6 お住まいの地域

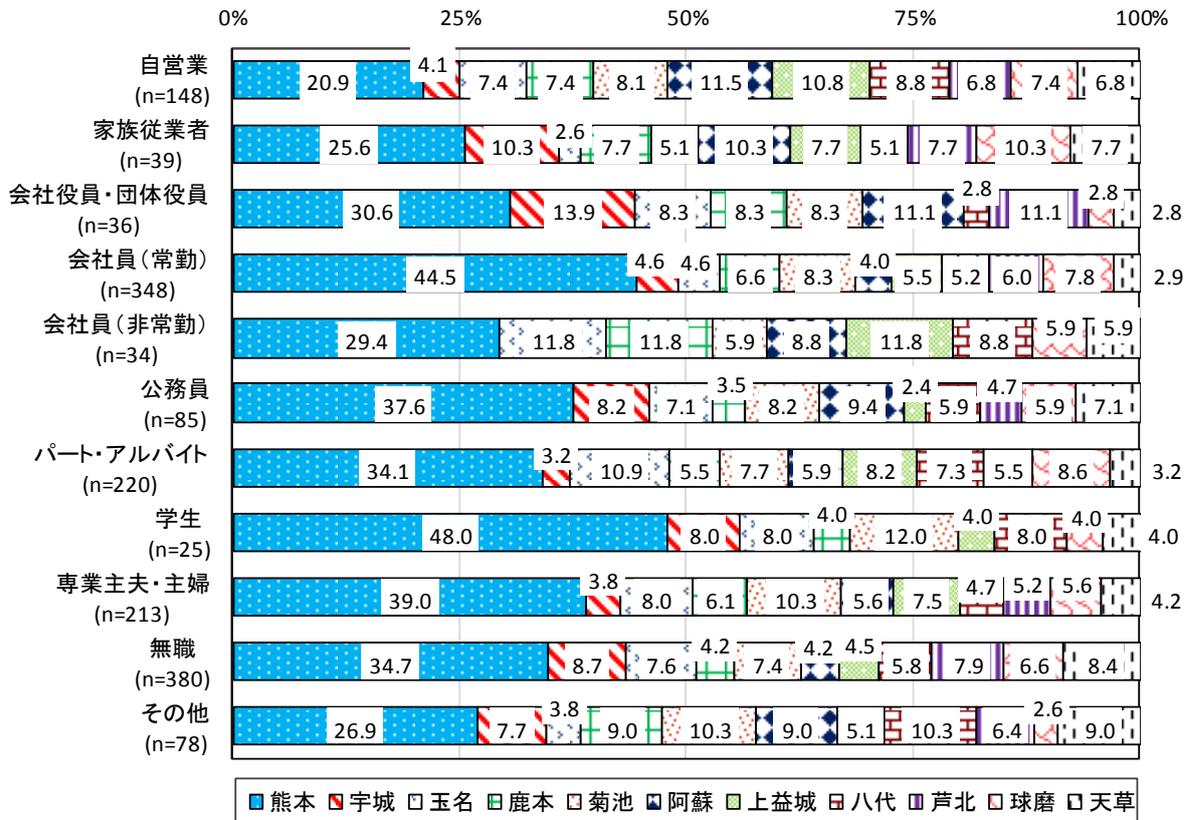
### ①性別



### ②年代別

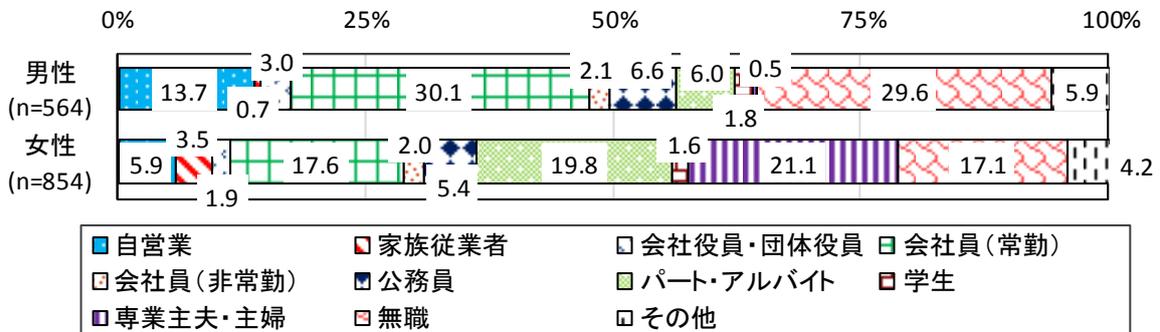


### ③職業別

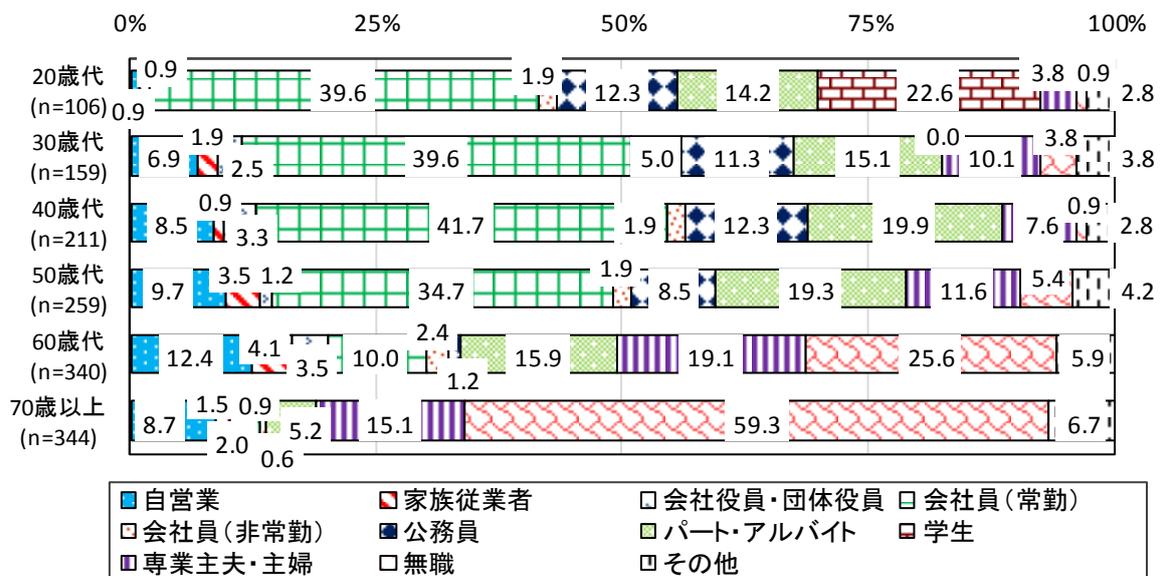


## 問7 職業

### ①性別



## ②年代別



## ③地域別

